

## 第2回 向日市地域福祉計画策定・推進委員会次第

日時：令和2年10月27日（火）

午後2時～

場所：向日市福祉会館 大会議室

1 開 会

2 議 事

(1) 第2期向日市地域福祉計画（後期計画）骨子（案）

について

(2) 本市の現状について

(3) 取組みの進捗状況と課題について

(4) その他

3 閉 会

## 第2期向日市地域福祉計画（後期計画） 骨子（案）

①現行計画の体系		現状分析・課題		④次期計画の体系骨子（案）																																							
基本理念	お互いの顔が見え、地域で共に支え合い、いきいきと暮らせるやさしいまち	②前期計画及び国や府、市の動向・方向性	③抽出データと課題	基本理念	お互いの顔が見え、地域で共に支え合い、いきいきと暮らせるやさしいまち																																						
基本目標		基本施策		基本目標																																							
基本目標1 地域で支え合いの推進	(1) 地域とつながるきっかけ・顔が見える関係づくり	向日市地域福祉計画（前期計画）  状況変化の確認	<p>【統計データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口・世帯の推移</li> <li>・人口動態</li> <li>・世帯の状況</li> <li>・地区別の人口・世帯の状況</li> <li>・地域福祉に関する活動の状況</li> <li>・対象者別にみた地域福祉の状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">※詳細別紙参照</p> <p style="text-align: center;"> 社会情勢の変化 向日市の現状</p>	基本目標1 地域で支え合いの推進	(1) 地域とつながるきっかけ・顔が見える関係づくり																																						
	(2) 見守り・支え合い活動の推進	◆各方針・方向性との照らし合わせ			<p>○（国）社会福祉法</p> <p>○（府）第3次京都府地域福祉支援計画</p> <p>○（市）『第2次ふるさと向日市創生計画』基本方針 「人と暮らしの明るくやさしいまちづくり」</p>	(2) 見守り・支え合い活動の推進																																					
基本目標2 地域福祉活動を推進する仕組みの強化	(1) 福祉を学び、知る機会の充実	<p style="text-align: center;"> 課題の抽出</p> <p>◆各福祉分野の方針を示す計画等との整合性確認</p> <p>・こうふくプラン向日 向日市高齢者福祉計画・向日市介護保険事業計画</p> <p>・向日市障がい者計画・向日市障がい者福祉計画・向日市障がい児福祉計画</p> <p>・向日市子ども・子育て支援事業計画</p> <p>・向日市健康づくり計画 (向日市保健計画・特定健康診査等実施計画)</p>	<p>【市民アンケートの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との関わり</li> <li>・地域福祉活動</li> <li>・地域福祉活動の拠点や情報源</li> <li>・地域での支え合い</li> </ul> <p style="text-align: right;">※詳細別紙参照</p> <p style="text-align: center;"> 地域福祉活動等に対する市民のイメージ・考え</p>	基本目標2 地域福祉活動を推進する仕組みの強化	(1) 福祉を学び、知る機会の充実																																						
	(2) 地域活動・ボランティア活動の充実				(2) 地域福祉活動団体と行政との横のつながりの強化	(2) 地域活動・ボランティア活動の充実																																					
	(3) 地域福祉活動団体と行政との横のつながりの強化				(3) 地域福祉活動団体と行政との横のつながりの強化	(3) 地域福祉活動団体と行政との横のつながりの強化																																					
基本目標3 一人ひとりに合った適切なサービスの利用の促進	(1) 必要な情報が手元に届く仕組みづくり	<p>◆各福祉分野の方針を示す計画等との整合性確認</p> <p>・こうふくプラン向日 向日市高齢者福祉計画・向日市介護保険事業計画</p> <p>・向日市障がい者計画・向日市障がい者福祉計画・向日市障がい児福祉計画</p> <p>・向日市子ども・子育て支援事業計画</p> <p>・向日市健康づくり計画 (向日市保健計画・特定健康診査等実施計画)</p>	<p>【取組の進捗状況と課題】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>取組数</th> <th>課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基本施策1</td> <td>(1)</td> <td>8</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>8</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">基本施策2</td> <td>(1)</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基本施策3</td> <td>(1)</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">基本施策4</td> <td>(1)</td> <td>9</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※詳細別紙参照</p>			取組数	課題	基本施策1	(1)	8	3	(2)	8	4	基本施策2	(1)	10	0	(2)	6	2	(3)	5	0	基本施策3	(1)	4	1	(2)	10	2	基本施策4	(1)	9	4	(2)	4	2	(3)	1	0	基本目標3 一人ひとりに合った適切なサービスの利用の促進	(1) 必要な情報が手元に届く仕組みづくり
					取組数	課題																																					
基本施策1	(1)	8	3																																								
	(2)	8	4																																								
基本施策2	(1)	10	0																																								
	(2)	6	2																																								
	(3)	5	0																																								
基本施策3	(1)	4	1																																								
	(2)	10	2																																								
基本施策4	(1)	9	4																																								
	(2)	4	2																																								
	(3)	1	0																																								
(2) 関係機関の連携強化による相談支援の充実	(2) 関係機関の連携強化による相談支援の充実	(2) 関係機関の連携強化による相談支援の充実																																									
基本目標4 地域ぐるみの安心・安全対策の推進	(1) 虐待の防止と権利擁護の推進	<p>・向日市都市計画マスタープラン</p> <p>・向日市バリアフリー基本構想</p> <p>・向日市バリアフリー特定事業計画</p>	<p style="text-align: center;"> 各課ヒアリング計画等との整合性の確認</p> <p style="text-align: center;">取組内容の精査</p>	基本目標4 地域ぐるみの安心・安全対策の推進	(1) 虐待の防止と権利擁護の推進																																						
	(2) 安心・安全なまちづくり				(2) 安心・安全なまちづくり	(2) 安心・安全なまちづくり																																					
	(3) 外出しやすい環境づくり				(3) 外出しやすい環境づくり	(3) 外出しやすい環境づくり																																					

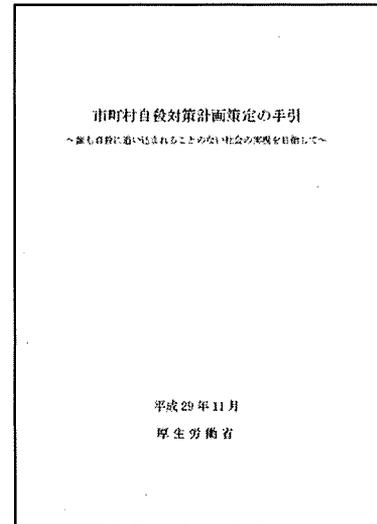
向日市自殺対策計画 骨子（案）

計画の体系骨子（案）		国や府、市の動向・方向性	プロファイリング等からみた課題
基本理念	お互いの顔が見え、地域で共に支え合い、いきいきと暮らせるやさしいまち		
基本目標			
基本目標1 地域におけるネットワークの強化		<ul style="list-style-type: none"> <li>○（国）自殺対策基本法（平成28年一部改正）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県・市町村は、それぞれ自殺対策計画を定める（第13条）</li> </ul> </li> <li>（国）改正自殺総合対策大綱（平成29年）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>〈誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す〉</li> </ul> </li> <li>・「生きることの阻害要因」を減らし、「生きることの促進要因」を増やすことで、社会全体の自殺リスクを低下させる</li> <li>（国）市町村自殺対策計画策定の手引（平成29年）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺対策計画の円滑な策定のため、標準的な手順と留意点等を記載したもの</li> </ul> </li> <li>○（府）京都府自殺対策推進計画（平成28年度～令和2年度）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺の問題に関する府民の理解促進</li> <li>・自殺の背景となる社会的な要因の軽減</li> <li>・自殺の原因・背景に対応した支援体制の整備</li> </ul> </li> <li>○（市）新たに「向日市自殺対策計画」を策定 「自殺は個人の問題ではなく、社会全体で取り組む問題」 ⇒第2期向日市地域福祉計画（後期計画）と一体的に策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本市の自殺者の傾向                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性が圧倒的に多い</li> <li>⇒40歳代男性の割合が最も高い</li> </ul> </li> <li>（考えられる要因）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や職場で重要な立場にあることが多く</li> <li>心理的、社会的に不安やストレスを抱えることが多い</li> </ul> </li> <li>・高齢者の自殺                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒本市の人口の約3割が高齢者であり、対策が必要</li> </ul> </li> <li>（考えられる要因）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>身体の衰えによる健康問題</li> <li>老々介護による負担</li> <li>経済的な問題による不安</li> </ul> </li> <li>○懸念事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の交流や活動休止</li> <li>・経済的な困窮</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>SNS等によるいじめや中傷によって 追い込まれた末の自殺</li> </ul>
基本目標2 自殺対策を支える人材の育成			
基本目標3 住民への啓発と周知			
基本目標4 生きることの促進要因への支援			

※基本目標は「市町村自殺対策計画策定の手引」に提示されている基本施策

## 「市町村自殺対策計画策定の手引き」

この手引は、平成 29 年 7 月に閣議決定された新たな自殺総合対策大綱において、国は、自殺対策計画の円滑な策定に資するよう、自殺対策計画策定ガイドラインを策定することとされていることから、「市町村自殺対策計画」の策定に関する標準的な手順と留意点などをとりまとめたもので、「自殺対策の基本方針」など、そのまま市町村自殺対策計画に盛り込むことのできる内容となっているものです。

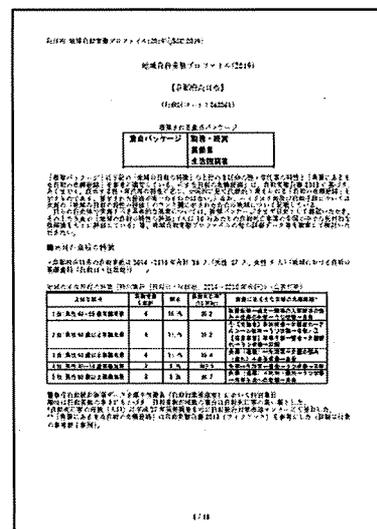


策定：厚生労働省

## 「地域自殺実態プロフィール」

平成 29 年 7 月に閣議決定された新たな自殺総合対策大綱では、地方公共団体の地域自殺対策計画の策定を支援するために、国は、自殺総合対策推進センターにおいて、すべての都道府県及び市町村それぞれの自殺の実態を分析した自殺実態プロフィールを作成しています。

都道府県及び市町村は、提供される地域自殺実態プロフィールを参考に地域の自殺の実態を把握することにより地域自殺対策計画を策定し、総合的な自殺対策を推進することとなっています。

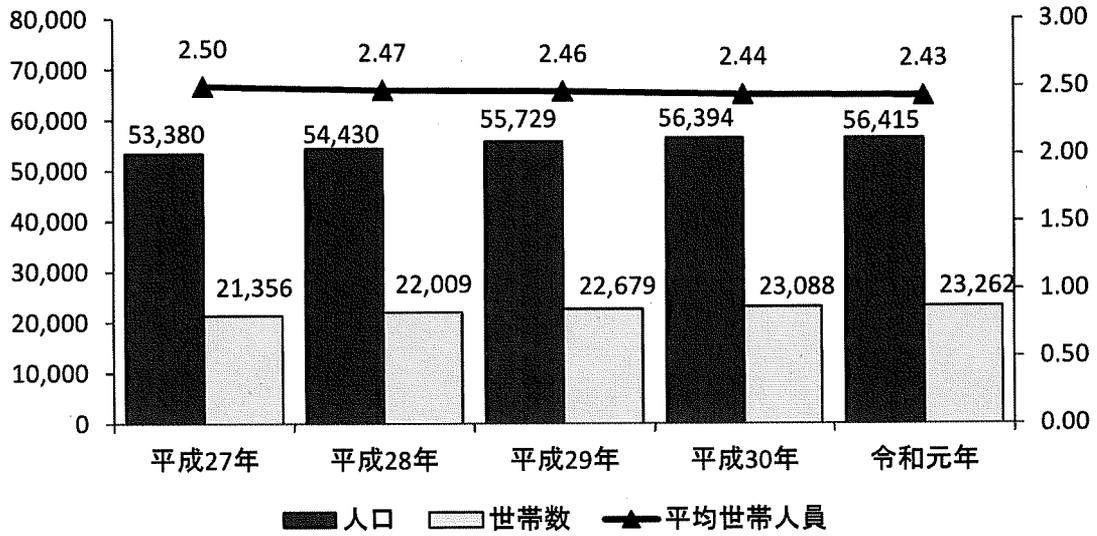


作成：自殺総合対策推進センター

# 本市の現状

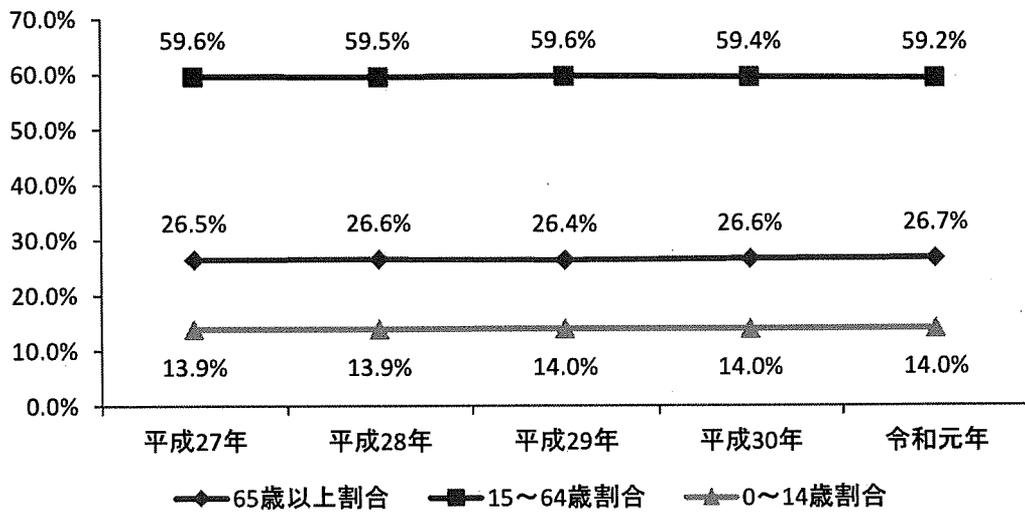
# 1 人口・世帯の推移

【人口・世帯の推移】



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

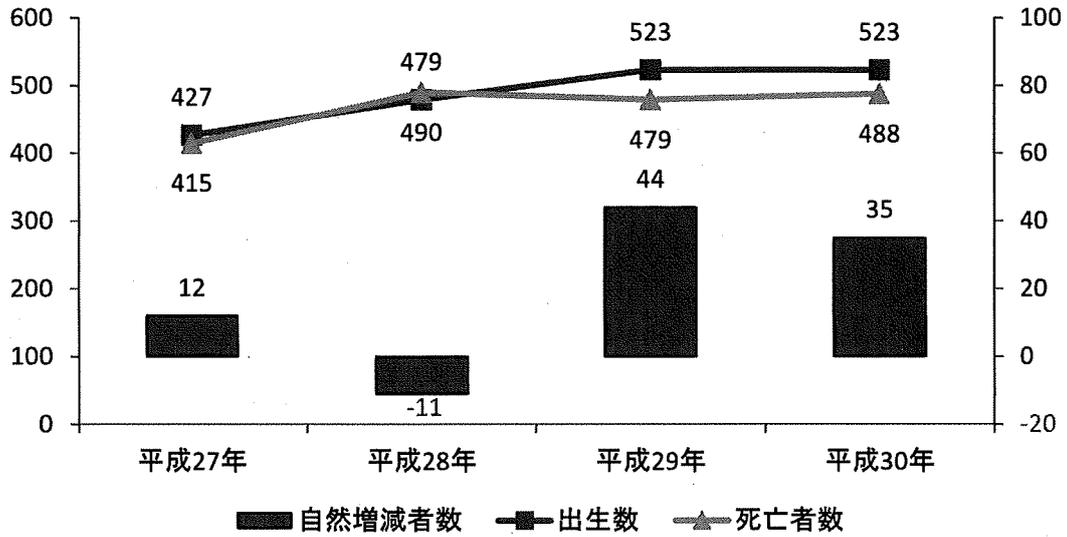
【年齢3区分別人口の推移】



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

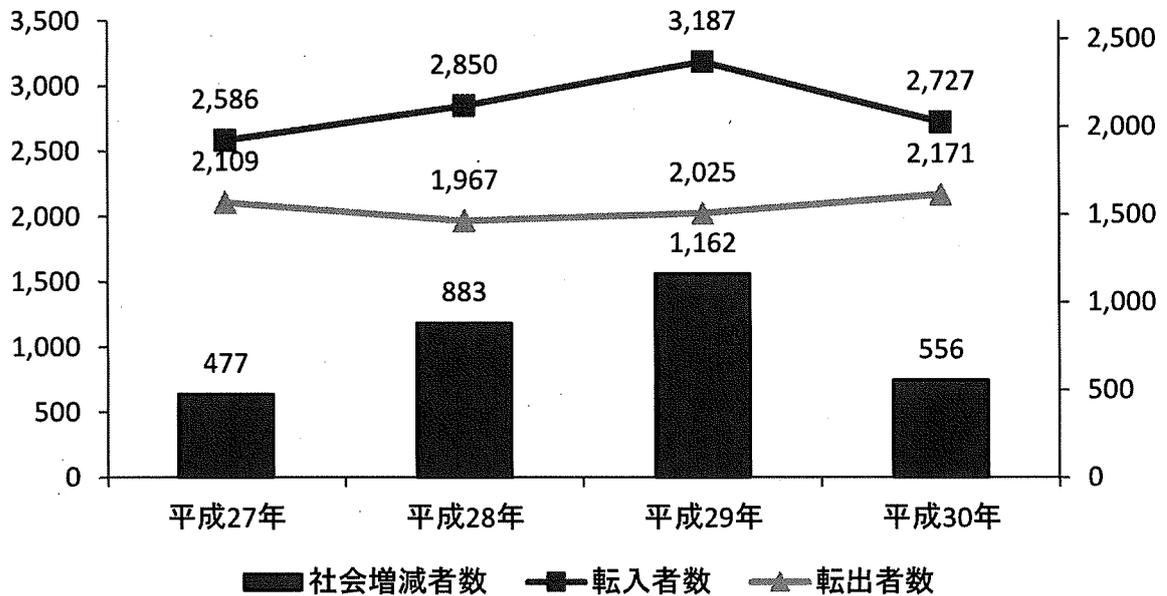
## 2 人口動態

### 【自然動態】



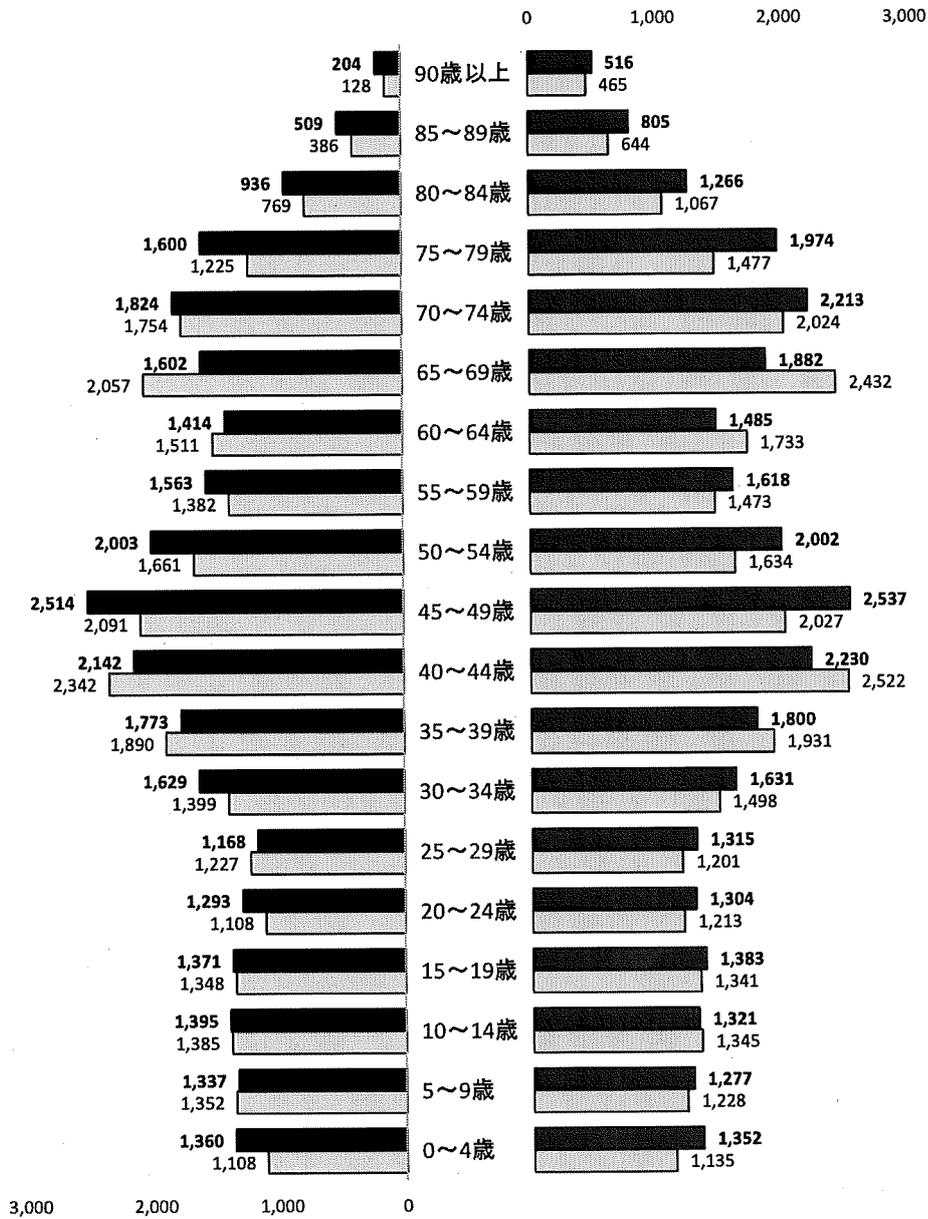
資料：市民課（各年1月1日～12月31日）

### 【社会動態】



資料：市民課（各年1月1日～12月31日）

【人口ピラミッド（令和元年と平成27年）】

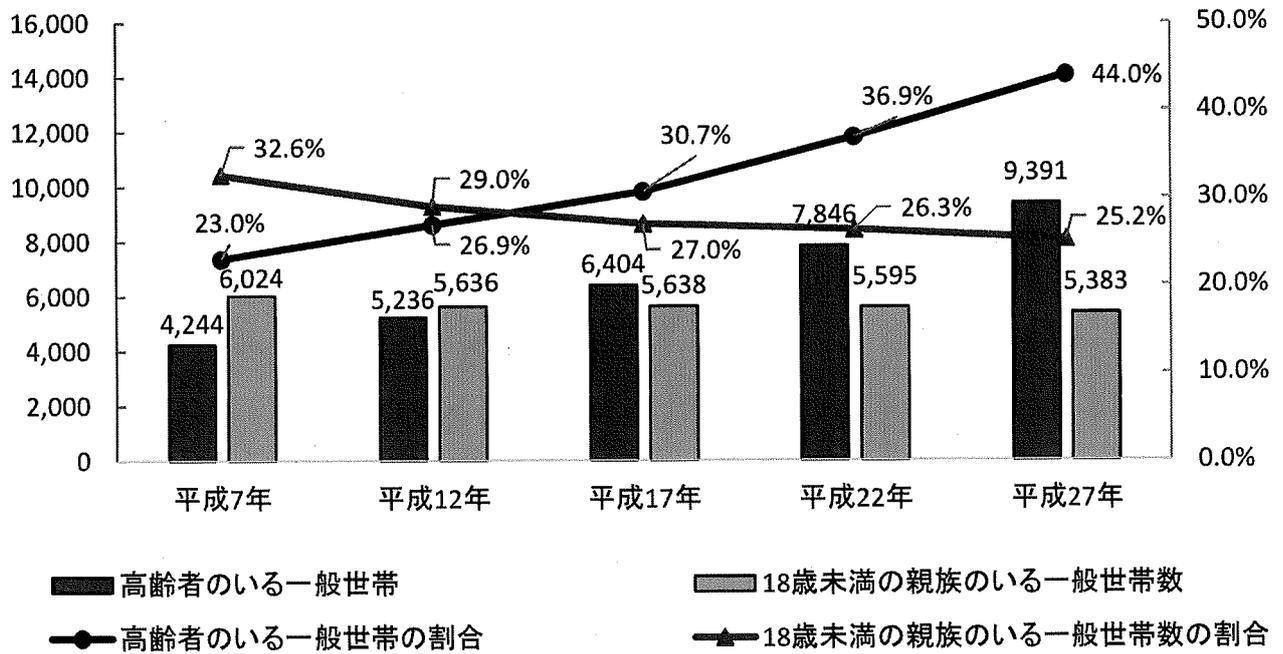


■男性(令和元年) □男性(平成27年) ■女性(令和元年) □女性(平成27年)

資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

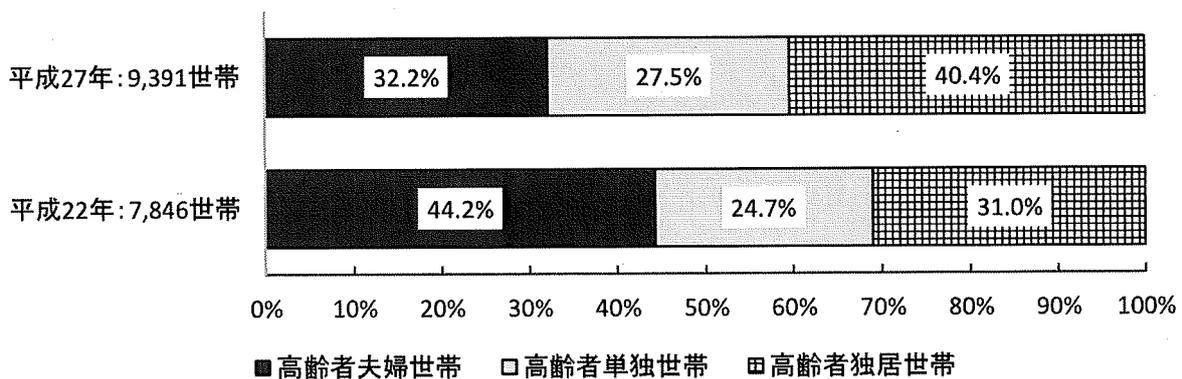
### 3 世帯の状況

【18歳未満の親族・高齢者のいる一般世帯数の推移】



資料：国勢調査

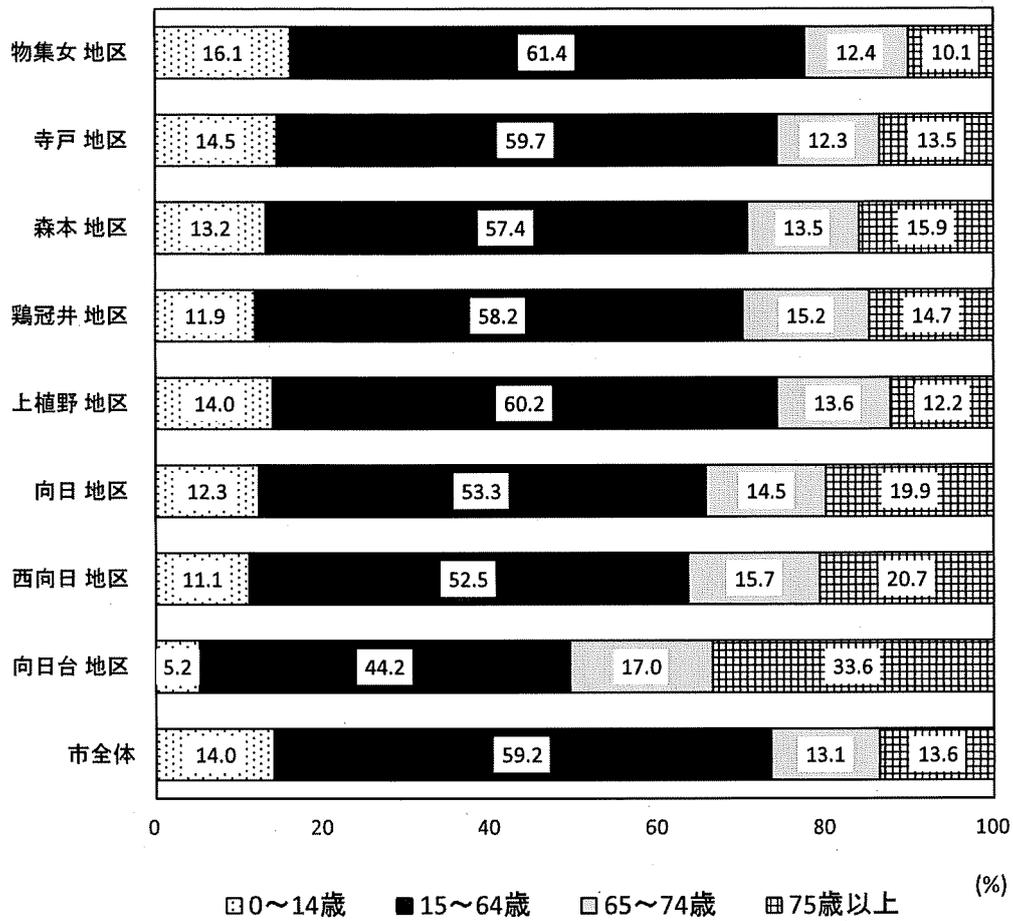
【高齢者のいる世帯推計】



資料：国勢調査

#### 4 地区別の人口・世帯の状況

【年齢区分別人口比率】



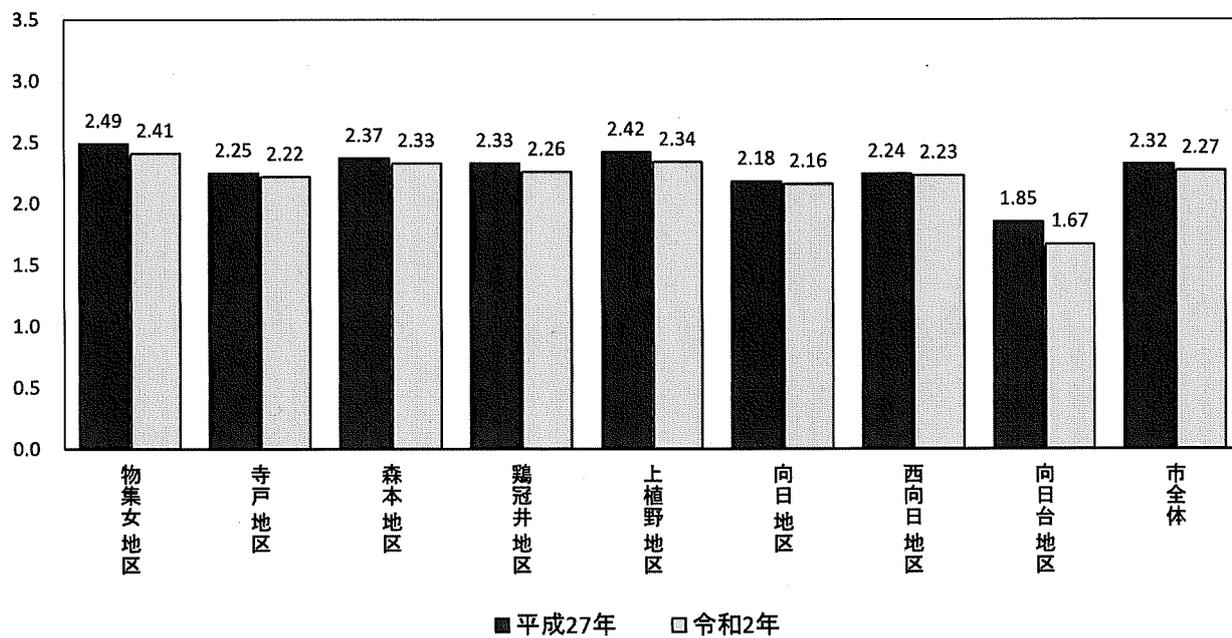
【地区別人口・世帯数】【地区別人口】

		物集女地区	寺戸地区	森本地区	鶏冠井地区	上植野地区	向日地区	西向日地区	向日台地区
人口	平成27年	8,516	22,457	4,520	5,229	10,577	965	1,313	936
	令和元年	8,554	25,537	4,522	5,203	10,753	919	1,297	763
	増減	38	3,080	2	-26	176	-46	-16	-173
世帯数	平成27年	3,414	9,974	1,906	2,244	4,373	443	587	506
	令和元年	3,548	11,501	1,944	2,306	4,589	426	582	457
	増減	134	1,527	38	62	216	-17	-5	-49

資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

### 【地区別平均世帯人数】

(人/世帯)



資料：住民基本台帳

# 地域福祉に関する活動の状況

## 5 地域福祉に関する活動の状況

### (1) 地域活動の状況

#### ①地区社会福祉協議会

【地区社会福祉協議会の活動状況（令和元年度）】

地区社協名	主な事業・活動
物集女地区社協	一人暮らし高齢者会食会、たけのこほり体験、もちつき、サロン活動、あいさつ通り推進事業
寺戸地区社協	クリーン作戦、音楽療法、研修事業、高齢者会食会、もちつき、クリスマス会、夏休みパトロール
森本地区社協	いもほり体験、高齢者配食、高齢者会食会、もちつき、新年互例会など
鶏冠井地区社協	高齢者配食サービス、高齢者会食会、音楽療法、ふれあい旅行、友愛訪問
上植野地区社協	高齢者配食活動、子ども神輿、いもほり、もちつき、老人会レクリエーション、節分祭
向日地区社協	独居高齢者配食と安否確認、独居高齢者ふれあい会、米寿祝、もちつき、サロン活動
西向日地区社協	昼食会、配食活動、おしゃべり会、水曜茶会&シネマ、サロン活動、ハロウィン
向日台地区社協	スプリングフェスティバル、歳末イベント、配食、会食会、いもほり、サロン活動

資料：市社協

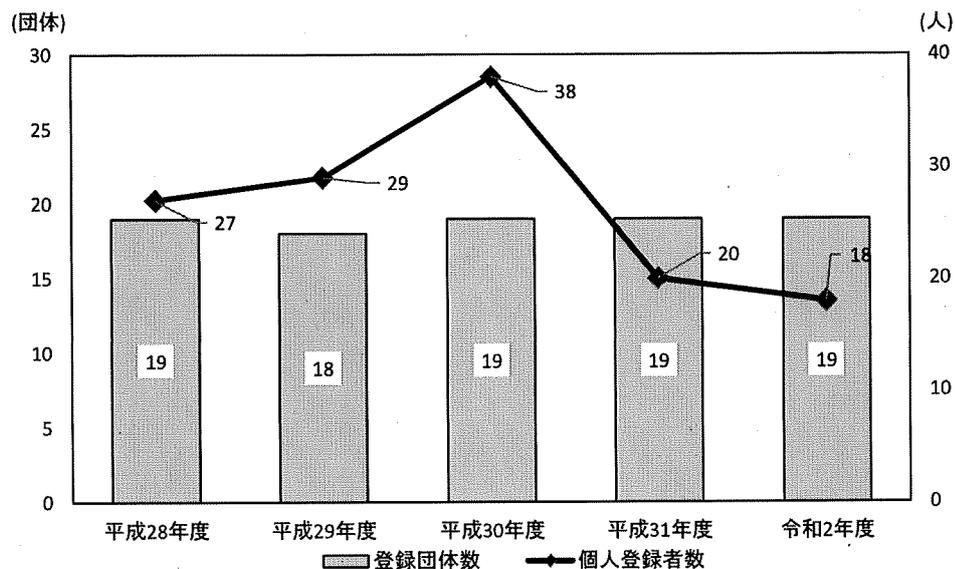
③ボランティア活動・市民活動

【ボランティアセンター登録グループ一覧（令和2年度）】

区分	グループ名	主な事業・活動
点字	向日市点訳サークル「きつつき」	点訳による視覚障がい者への情報提供及び交流。小学校、一般市民への啓発。点訳ボランティア養成講座の開催。
点字 (琴の楽譜)	おたまじゃくし	視覚障がい者の方に主にお琴の楽譜を点訳する。パソコン入力、校正を経て本にする。
手話	上植野手話サークル「あすなる」	聴覚障がい者とともに手話を学習し交流を深める。また小学校へ出向き手話の普及に務める。
要約筆記	向日市要約筆記サークル「フレンド」	聴覚障がい者、主に難聴中失聴者のコミュニケーション・情報保障。要約筆記の学習・技術向上に務める。
音訳	音訳サークル「愛フレンド」	主に「広報むこう」「市議会だより」の音訳・録音・CD作成。音訳技術向上のための学習を行う。
介助	サークル・プラスワン	①安否確認、お話相手、散歩介助 ②向陽苑での喫茶ルームボランティア ③デイサービスでのお手伝い④学校の車椅子体験など
スポーツ (水中運動)	めだか	身体障がい者・高齢者等が、水中運動を楽しむことを援助し介護予防の一翼を担う。
リフォーム	ボランティアグループひまわり	高齢者、障がい者（児）の衣服の寸法直し、繕い物、リフォーム。事業所などへの必要なものの提供。
交流	ブーフーウー京都	福祉施設、病院、学校、保育所などを訪問し、音楽療法を取り入れた活動する。①合唱②コンピューター大型紙芝居③癒しの楽器演奏
	さくら会	高齢者福祉施設にて、指先と脳を使うことで、リハビリの効果のある折り紙で交流する。
	京ことばの会（向日市）	高齢者施設等で京ことばの歴史、語源や京の歳時、しきたりをクイズ方式や京ことばカルタなどでレクリエーションをする。
	むこうシニア	高齢者（特に男性）の地域交流の場を提供する。健康増進を図り、仲間づくり、生きがいづくりを目的に活動する。
サロン	サロン・かぐやひめ	高齢者、障がい児・障がい者のサロン開設など
健康講座	カイロプラクティック地域普及委員会	地域に広くカイロを普及するため、地域に出向き健康講座や体験会の講師をする。
配食活動 (高齢者)	ぶどうの会	月1回手作りのお弁当を高齢の独居または高齢世帯の方へお届けして、安全確認とお互いの交流を深める。
子ども食堂	向日市 さくら きっちゃん	月に1～2回、イベントや子ども食堂を開催。みなでワイワイごはんを食べ、楽しい時間をつくり、親・子どもたちの居場所づくりをしている。
趣味 サークル	詩吟を愛する会	詩吟を通じ、ボランティア活動し皆様と楽しい時間を過ごす。
	むこうレシ	ウクレレ演奏を通じて、多くの人に音楽の楽しさを体験してもらう。市内福祉施設等での演奏も行う。
	オカリナ「フーガ」	オカリナの基本を練習し、演奏法を学びながら地域の行事や福祉施設に訪問し、入所・通所者の方々と共に音楽療法を通して豊かな心の安定づくりをめざす。

資料：市社協

【ボランティアセンター登録団体数・個人登録者数の推移】



資料：市社協

【市民協働センター登録団体一覧（令和2年度）】

活動分野	登録数	活動分野	登録数	活動分野	登録数
地域・まちづくり	22	福祉	11	保健・医療	6
竹文化	3	史跡・観光	2	文化・芸術	13
スポーツ	6	社会教育	10	環境保全	10
美化活動	8	交通安全	1	男女共同参画	5
子ども	20	国際協力・交流	5	人権・平和	13
災害救援	2	IT・情報化	1	科学技術	2
経済活動の活性化	3	職業訓練・雇用促進	2	消費者保護	4
市民活動支援	10	生涯学習支援	15	食・農業	10
その他	3				

※ 1つの団体が複数の活動分野に登録しているため、登録数の合計と団体数は一致しない。

資料：広聴協働課（令和2年8月現在）

(2) 向日市社会福祉協議会（市社協）の状況

【市社協の主な地域福祉活動】

1) 地域福祉活動計画の推進

- ・ご近所福祉の推進 ・アクションプラン（災害・認知症）の取組み ・実践交流会 など

2) 小地域福祉活動

- ・地区社協活動の推進 ・地域サポートセンターの運営 ・ふれあいサロン活動の支援
- ・若者の発想を活かした地域づくり事業 ・事業所の社会貢献活動推進 など

3) 子育て支援活動

- ・のびのび子育て教室 ・子育て支援講座 など

4) 高齢者福祉活動

- ・歳末おかたづけ応援隊事業（シルバー人材センターとの連携）
- ・まごころ見守り定期便（ヤクルトとの連携）・地域健康塾・認知症サポーター養成事業 など

5) 障がい者（児）福祉活動

- ・障がい者地域生活支援センターの相談事業 ・障がい児・者余暇活動支援事業（創作活動）
- ・聴覚障がい者のためのいきいきサロン ・障がい児療育事業 ・視覚障がい者交流事業
- ・聞こえの相談会 ・障がい者（児）ふれあいレクリエーション など

6) ボランティア活動の支援

- ・ボランティアセンターの運営（団体・個人登録及びマッチング）
- ・福祉教育・ボランティア学習プログラム ・ボランティア体験プログラム
- ・ボランティア養成（点字・災害） ・ボランティア情報誌の発行 など

7) 相談支援

- ・福祉サービス利用援助事業 ・生活福祉資金
- ・くらしと仕事の相談窓口（生活困窮者自立相談支援事業）
- ・くらしの資金 ・小口厚生資金 など

8) 向日市地域包括支援センターの運営

- ・介護予防ケアマネジメント ・包括ケア会議
- ・介護予防講座 ・認知症地域支援体制構築等推進事業 など

9) その他

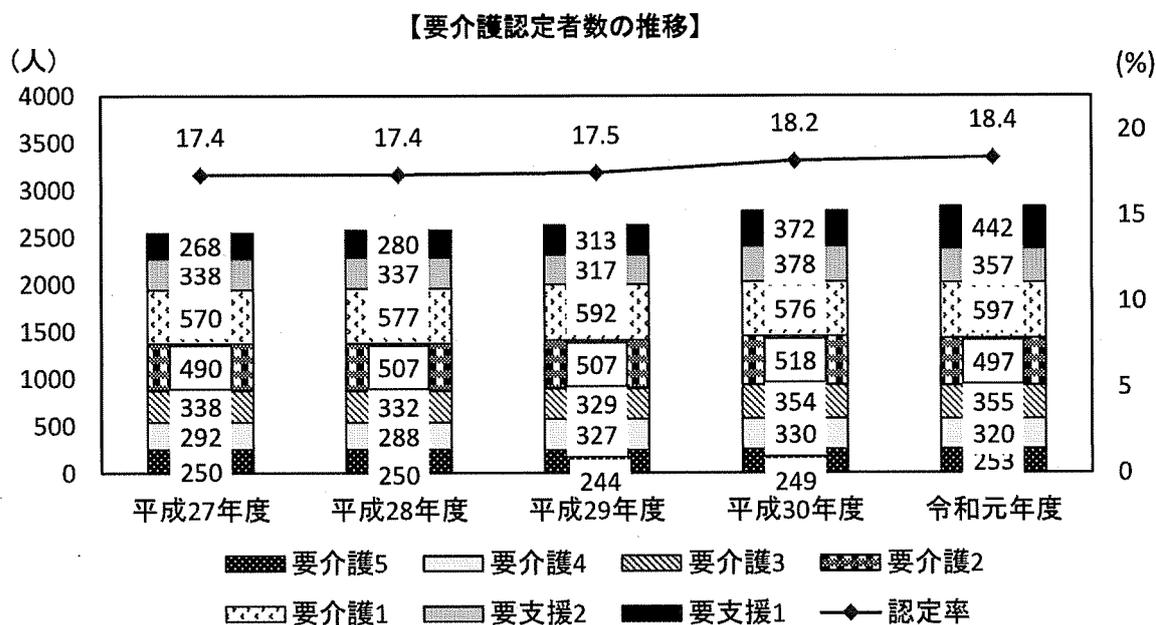
- ・社協まつり ・福祉団体への助成 ・学習備品の貸出 ・車いすの貸出 など

## 対象者別にみた地域福祉の状況

## 6 対象者別にみた地域福祉の状況

### (1) 高齢者の状況

#### ① 要介護認定者数の推移



※認定率=第2号被保険者を含む認定者数÷第1号被保険者数

資料：介護保険事業状況報告（各年10月1日現在）

#### ② 認知症サポーター

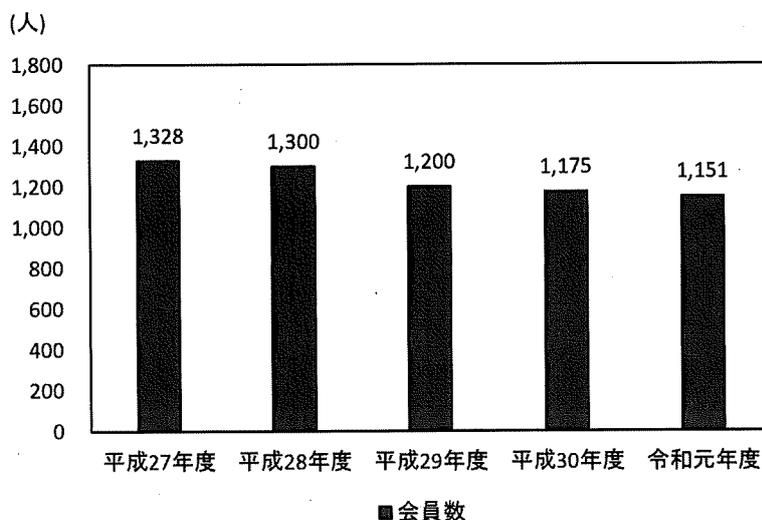
**【認知症サポーター養成講座・受講者数の推移】**

	平成27年	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
講座開催数	18回	33回	13回	11回	12回
受講者数	1,055人	1,149人	779人	673人	941人

資料：高齢介護課

③老人クラブの状況

【老人クラブ加入者数の推移】

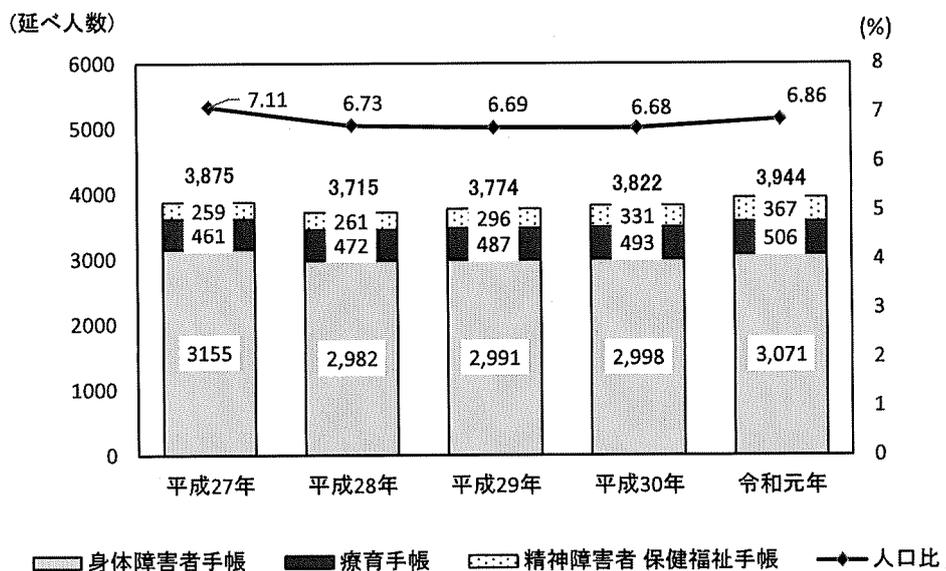


資料：高齢介護課

(2) 障がい児・者の状況

①各種障害者手帳の所持者数

【各種障害者手帳所持者数の推移】



※延べ人数：重複障がいもあるため、実人数と異なる。

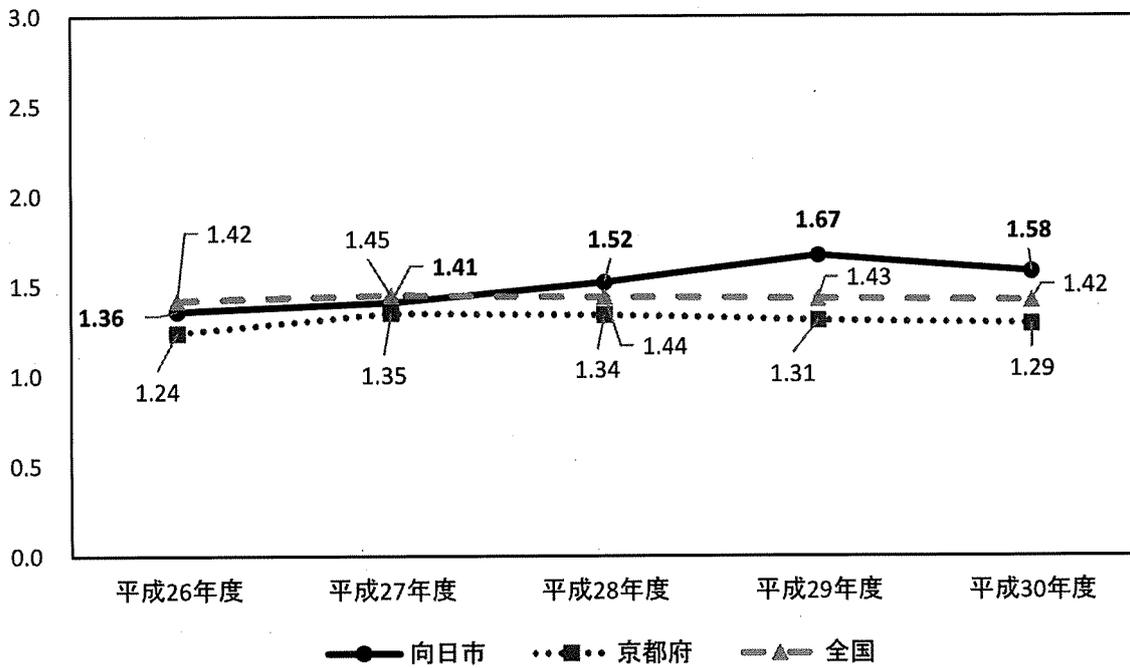
資料：身体障害者手帳交付台帳登載者数、市町村別療育手帳保持者数  
精神障害者保健福祉手帳交付数（各年3月末現在）

(3) 子どもや子育て家庭の状況

①合計特殊出生率

(%)

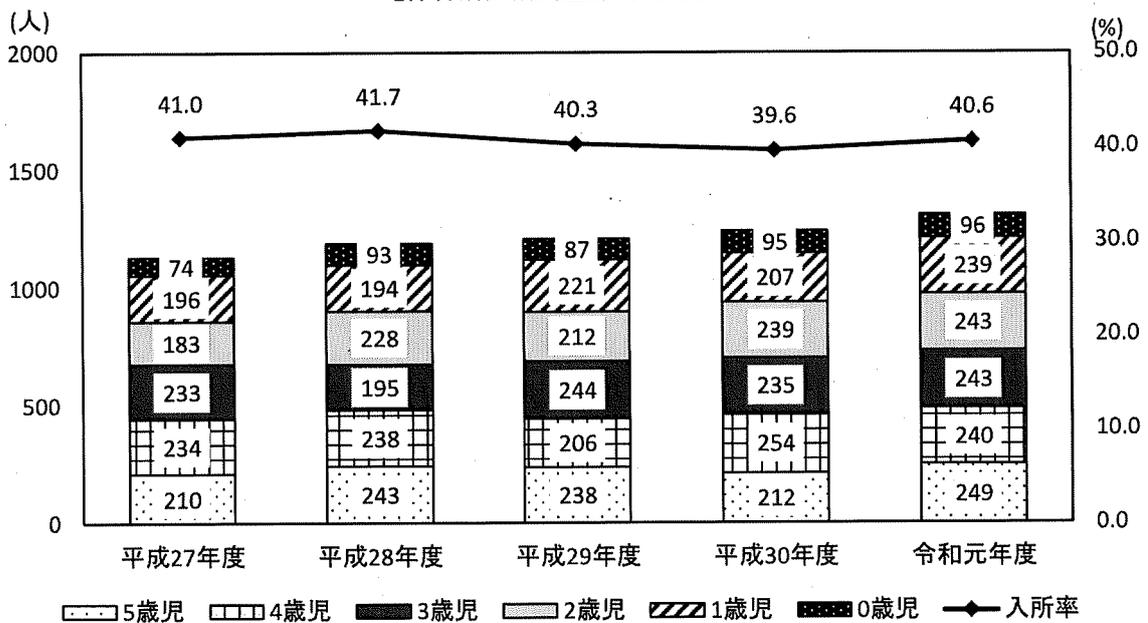
【合計特殊出生率の推移】



資料：健康推進課

②保育所の状況（入所児童数の推移）

【保育所入所児童数の推移】



資料：子育て支援課

③地域子育て支援拠点

【地域子育て支援拠点の状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
地域子育て支援拠点	5 箇所	5 箇所	7 箇所	7 箇所	7 箇所
延べ利用者数	14,672 人	17,915 人	26,980 人	25,804 人	20,805 人

資料：子育て支援課

④ファミリーサポートセンター事業

【ファミリーサポートセンターの会員数等の推移】

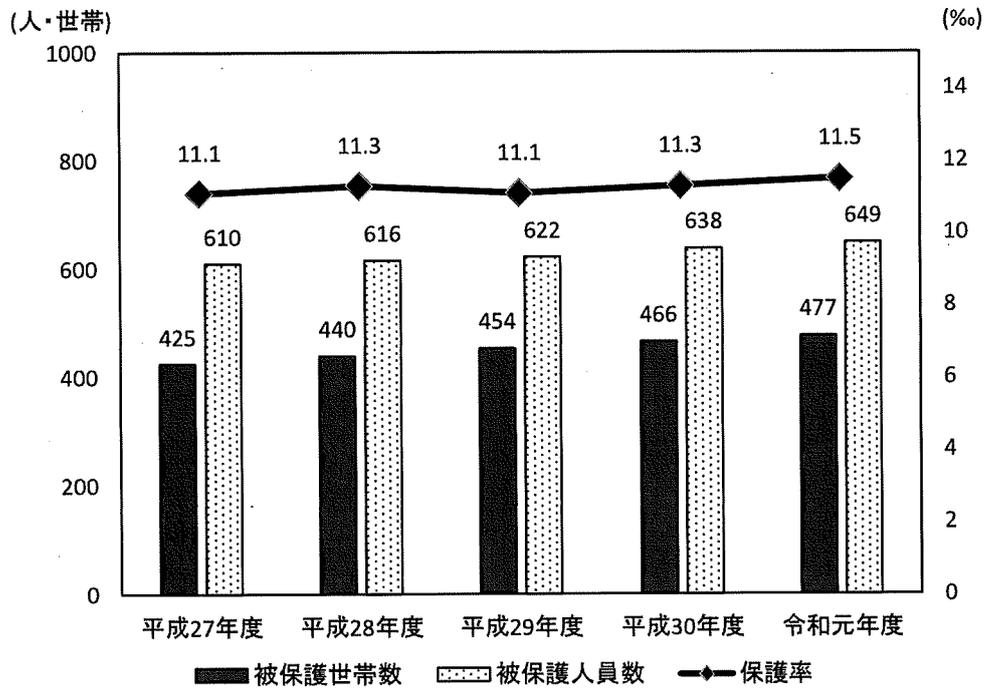
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
活動件数	940 件	1,372 件	1,409 件	1,071 件	1,067 件
会員合計	671 人	674 人	724 人	728 人	746 人
依頼会員	493 人	498 人	542 人	538 人	551 人
援助会員	148 人	150 人	154 人	160 人	161 人
両方会員	30 人	26 人	28 人	30 人	34 人

資料：子育て支援課

(4) 低所得者支援の状況

①生活保護の状況

【被保護世帯数・被保護人員数の推移】



※ % (パーミル) : 1000 分の 1 を 1 とする単位

資料 : 地域福祉課

(5) 相談支援等の状況

① 民生委員・児童委員、主任児童委員の人員状況

【各地域における民生委員・児童委員数（令和元年度）】

地区名	物集女	寺戸	森本	向日台	鶏冠井	上植野	向日	西向日
人数	11人	35人	6人	3人	6人	14人	2人	2人

資料：地域福祉課

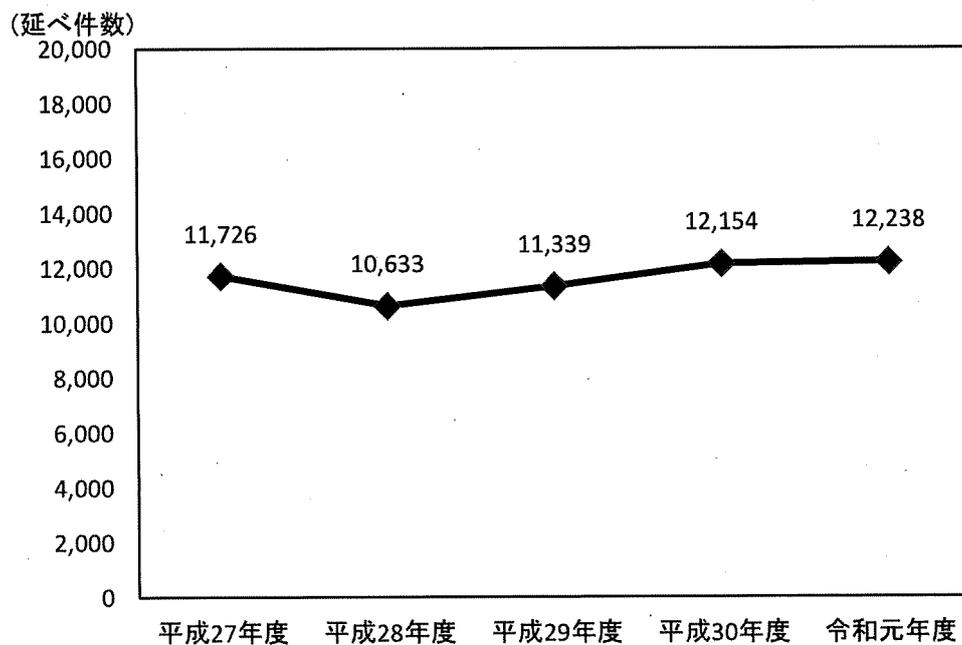
【主任児童委員（令和元年度）】

地区名	向陽 小学校区	第2向陽 小学校区	第3向陽 小学校区	第4向陽 小学校区	第5向陽 小学校区	第6向陽 小学校区
人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人

資料：地域福祉課

② 高齢者に関する相談支援の状況

【地域包括支援センターにおける相談件数の推移】



資料：高齢介護課

③障がい者に関する相談支援の状況

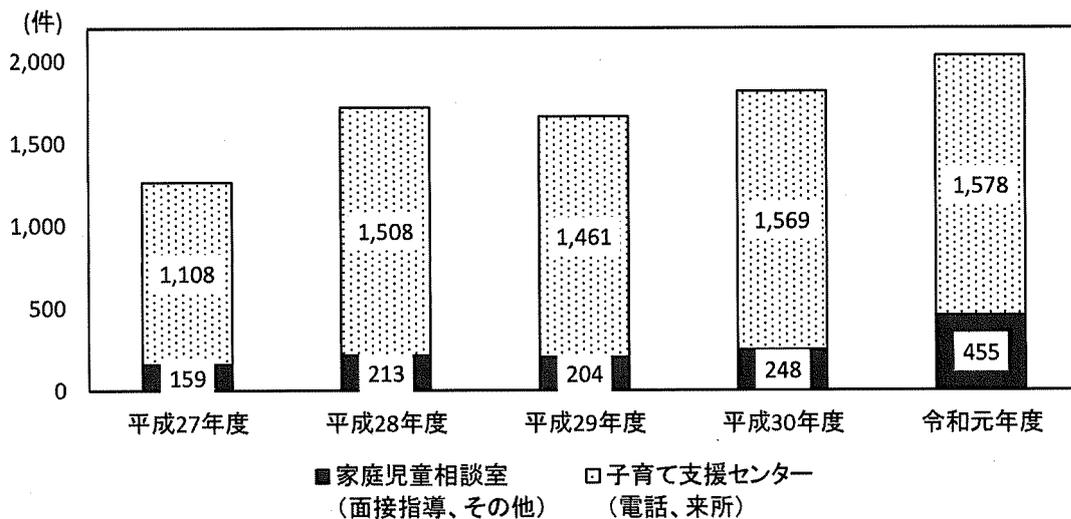
【障がい者に関する相談支援件数の推移】

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
障がい者地域生活支援 センター相談支援事業	2,390件	1,756件	1,569件	4,853件	6,008件
精神障がい者相談支援事業	43件	54件	91件	102件	72件
身体障害者巡回更生相談	3回 17件	3回 17件	3回 6件	3回 15件	3回 17件

資料：障がい者支援課

④子ども・子育てに関する相談支援の状況

【子育て支援センター事業、家庭児童相談室における相談件数の推移】

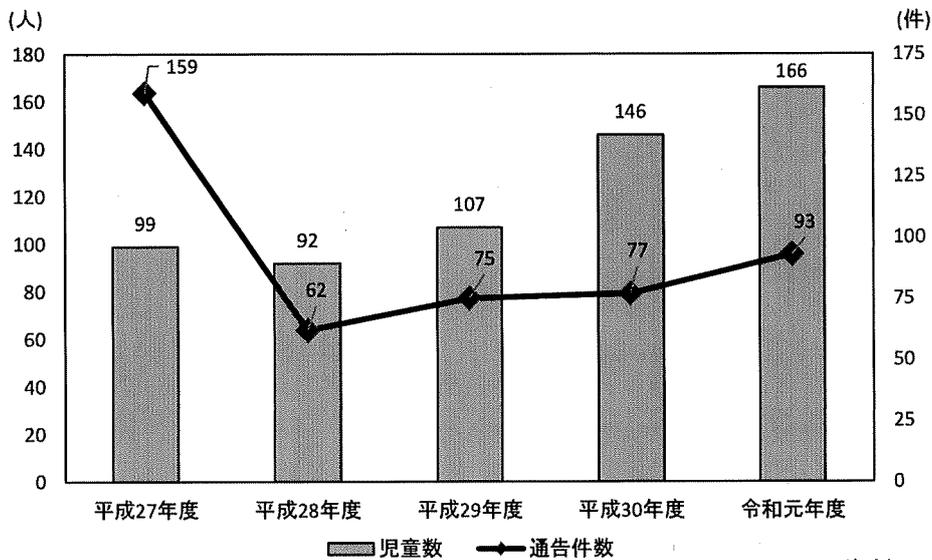


資料：子育て支援課

(6) 虐待防止の取組状況

①児童虐待の防止

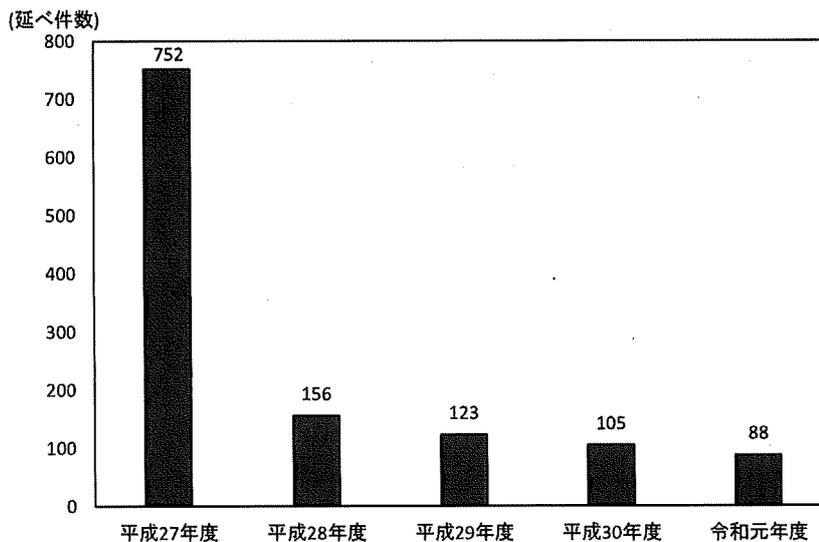
【児童虐待の通告件数等の推移】



資料：子育て支援課

②高齢者虐待の防止

【地域包括支援センターにおける高齢者虐待に関する相談件数の推移】



資料：高齢介護課

③障がい者虐待の防止

【障がい者虐待に関する相談・通報件数の推移】

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
養護者による虐待に関する 相談、通報件数	3件	3件	6件	3件	2件
施設従事者等による虐待に 関する相談、通報件数	1件	0件	3件	6件	0件
その他虐待に関する相談、 通報件数	1件	0件	1件	2件	0件

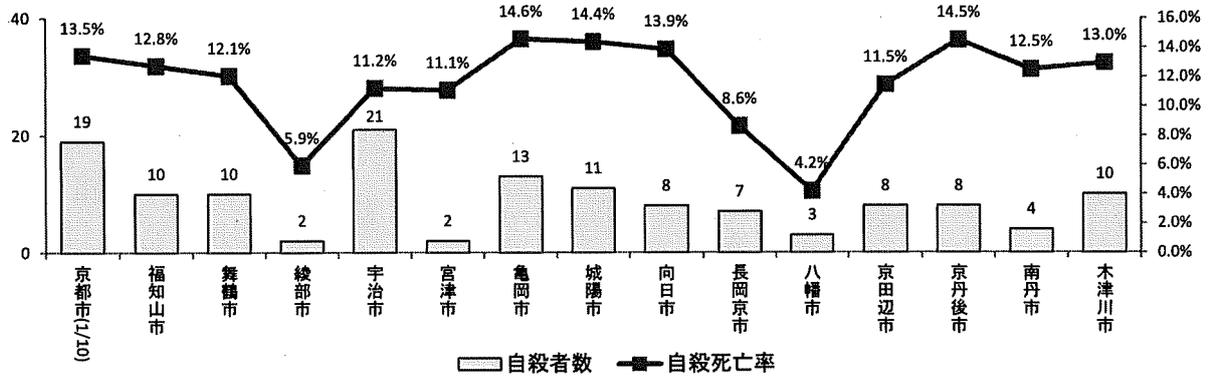
資料：障がい者支援課

# 自殺の状況

## 7 自殺の状況

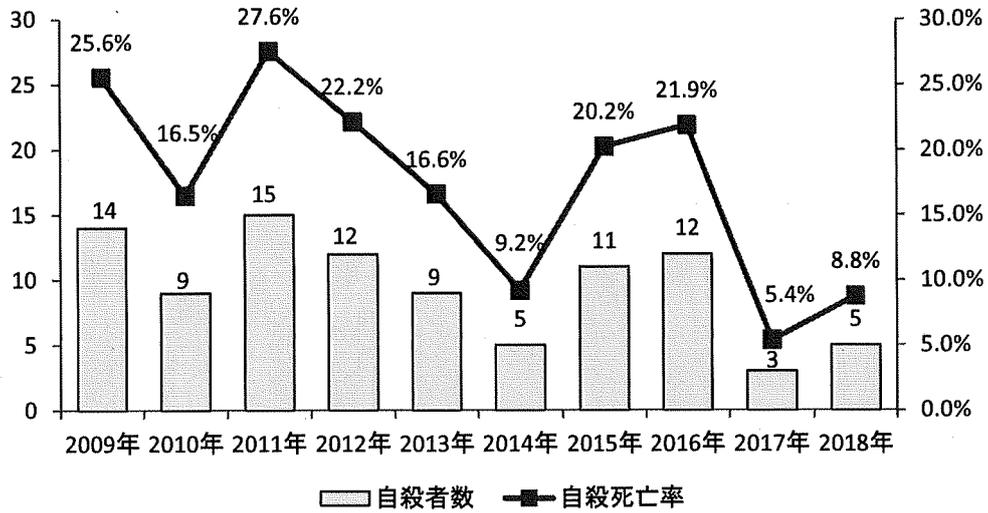
### ①自殺者数・自殺死亡率

【京都府内の自殺者数・自殺死亡率（令和元年）】



資料：厚生労働省自殺の統計：地域における自殺の基礎資料

【向日市の自殺者数・自殺死亡率の推移】

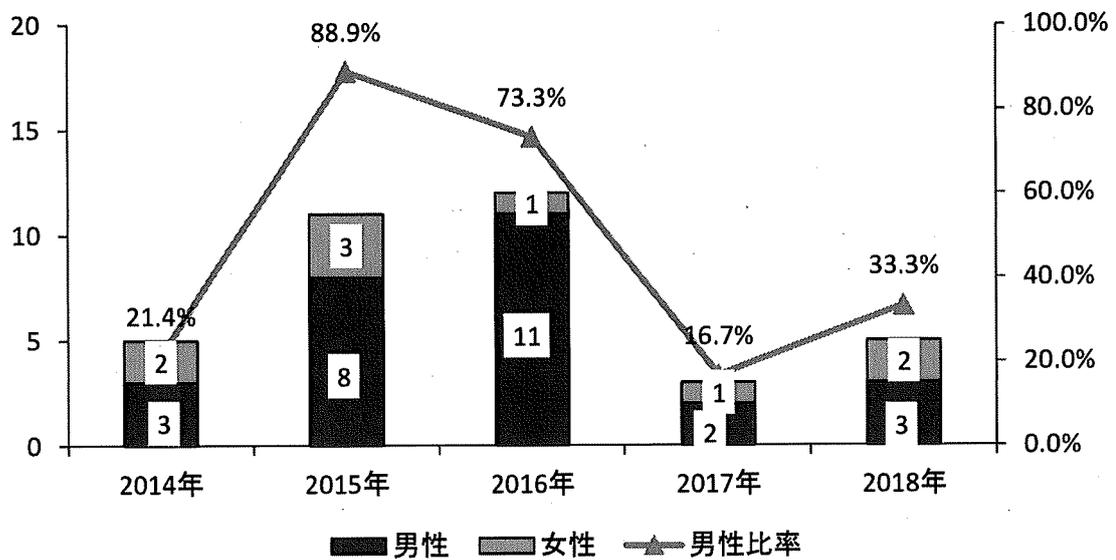


※自殺死亡率：人口10万人あたりの自殺者数

資料：地域自殺実態プロファイル（2019）

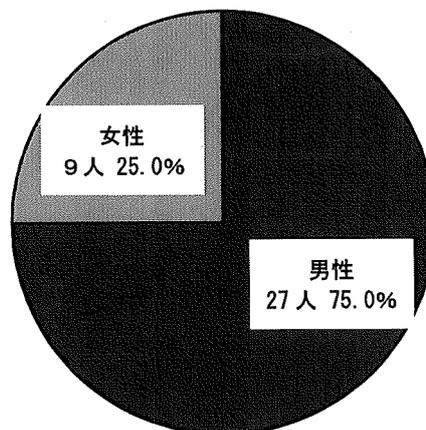
②自殺者の性別

【性別自殺者数の推移】



資料：地域自殺実態プロフィール（2019）

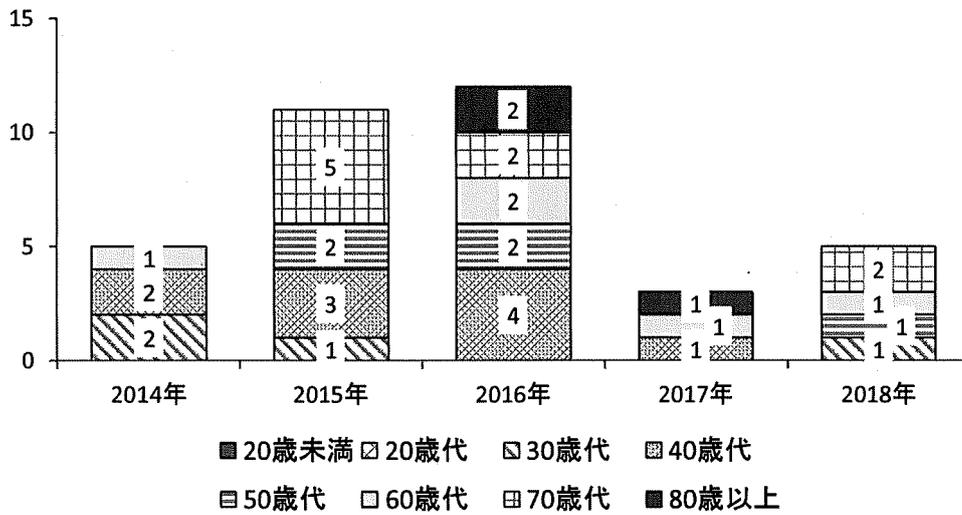
【性別自殺者数（2014～2018年の合計）】



資料：地域自殺実態プロフィール（2019）

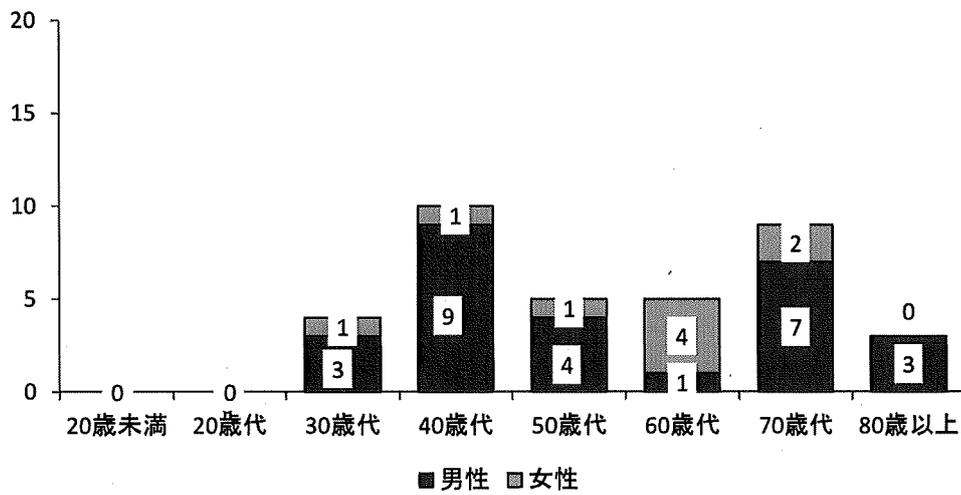
③自殺者の年代

【年代別 自殺者数の推移】



資料：地域自殺実態プロフィール（2019）

【性年代別 自殺者数（2014～2018年の合計）】



資料：地域自殺実態プロフィール（2019）

④60歳以上の自殺者の内訳

【性年代別同居人の有無（2014～2018年の合計）】

性別	年齢	同居人の有無		
		あり	なし	合計
男性	60歳代	0	1	1
		0.0%	100.0%	100.0%
	70歳代	5	2	7
		71.4%	28.6%	100.0%
	80歳以上	3	0	3
		100.0%	0.0%	100.0%
合計	8	3	11	
	72.7%	27.3%	100.0%	
女性	60歳代	3	1	4
		75.0%	25.0%	100.0%
	70歳代	0	2	2
		0.0%	100.0%	100.0%
	80歳以上	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%
合計	3	3	6	
	50.0%	50.0%	100.0%	

資料：地域自殺実態プロフィール（2019）

### <基本目標1：地域で支え合いの推進>

基本施策(1)：地域とつながるきっかけ・顔が見える関係づくり					
取組の方向性	継続	新設	具体的な取り組み	所管課	課題
①地域の魅力等の広報・PRの推進	○		●広報・HP等による情報提供 制度案内（生活保護・民生児童委員）や施設の情報発信で周知 市政情報やまちの話題、イベント等を掲載し、情報発信 SNSのフォロワー数も増加傾向  ニーズに合った情報発信が必要	地域福祉課 企画広報課	○
	○		●生涯学習に関する情報提供 「生涯学習情報紙」の発行による情報発信で周知	生涯学習課	
	○		●講演会等の開催支援 ボランティア学習プログラム等（福祉教育）など小中高等学校との連携 （社会福祉協議会）	地域福祉課	○
②自治会への加入促進	○		●自治会加入促進 加入率は低調であり、新たな手法の検討が必要	総務課	○
③地域の居場所・集いの場づくり	○		●地域健康塾・認知症カフェの実施 外出支援や交流を必要とする高齢者の居場所を確保	高齢介護課	
	○		●子育て世帯の集いの場づくり 民生児童委員による「絵本のよみきかせ」の開催 すくすくガイド「むこうし保育園・認定こども園・幼稚園入園情報」を発行 子育て支援拠点を周知、利用者増加 ファミリーサポートセンター事業の充実、会員が増加 保育施設の地域開放を毎月実施	地域福祉課 子育て支援課	
	○ (★)		(標題：変更検討) ●福祉施設の地域への開放や地域住民との交流促進 ⇒地域住民との交流促進 「障がい者の日スポーツのつどい」を開催し、障がいのある・なしに関係なく参加できるあそびのブースや各種競技を通じて交流	障がい者支援課	
	○		●ふれあいサロンへの支援 公民館や集会所を拠点に活動するサロンを支援（助成金交付） 高齢者のいきがいと介護予防（健康づくり）など参加者同士が企画・運営	地域福祉課	

※(★) 標題変更検討

基本施策(2)：見守り・支え合い活動の推進					
取組の方向性	継続	新規	具体的な取り組み	所管課	課題
①地域における情報交換・意見交換の場の充実	○		●井戸端会議の開催 向日市民生児童委員連絡協議会が主催する地域の情報交換や交流の場を提供	地域福祉課	
	○		●ふれあいサロンへの支援（再掲：I-(1)-③） 公民館や集会所を拠点に活動するサロンを支援（助成金交付） 高齢者のいきがいと介護予防（健康づくり）など参加者同士が企画・運営	地域福祉課	
②地域における見守りの促進	○		●訪問活動等による見守り支援 要支援者の急増に伴う地域包括支援センターの更なる機能強化	高齢介護課	○
	○		●高齢者見守りネットワークの充実 郵便や宅配等の民間事業者協力を得て、多層的に見守り体制を構築 事業者：10箇所	高齢介護課	
	○		●児童虐待通告窓口の周知啓発 広報への掲載など「児童虐待防止推進月間」を広報により周知	子育て支援課	
	○		●福祉活動の支援 ボランティアの人員確保が困難 定年後も働いている方が多い等（社会福祉協議会）	地域福祉課	○
③地域における生活支援等		○	●介護予防・日常生活支援総合事業の実施 生活支援講習会により、緩和型サービスと住民主体型サービスの支援員を養成 外出支援のニーズが高く、ニーズにあったサービスの創出が必要	高齢介護課	○
	○		●近所福祉活動への支援（社会福祉協議会） 地域で高齢化が進み地域行事も年々減少 新たな地域活動の創出が必要	地域福祉課	○

＜基本目標2：地域福祉活動を推進する仕組みの強化＞

基本施策(1)：福祉を学び、知る機会の充実					
取組の方向性	継続	新規	具体的な取り組み	所管課	課題
①地域福祉活動に関する啓発・交流の促進	○		●地域福祉に関する情報提供 広報のこころやHIP等において、地域福祉に関する情報を提供 福祉パレットの発行（社会福祉協議会広報誌）	地域福祉課	
	○		●イベント等の活用 向日市まつりなどのイベントにおいて、地域福祉に関する活動を行う団体が活動をPR	広聴協働課	
	○		●地域福祉活動に関する理解の促進（社会福祉協議会） 社協まつりなどの交流イベントにおいて、地域福祉活動の普及啓発	地域福祉課	
②要支援者に対する理解の促進	○		●人権に対する理解の促進（類似：II-(1)-①） 向日市まつりなどのイベントにおいて、地域福祉に関する活動を行う団体が活動をPR	広聴協働課	
		○	●手話への理解促進・普及 手話マンガの製作・配布・設置	障がい者支援課	
		○(★)	(標題：変更検討) ●小中学校における福祉学習→小中学校における人権学習・福祉学習 人権問題の解決に自ら考えて行動できる児童生徒の育成  環境体験活動の実施 福祉現場で働くことの意識、自らの進路を考える機会を提供	学校教育課	
		○	●小中学校での認知症サポーター養成講座の開催 小中学校での開催が定着し、認知症への理解促進		
		○	●認知症に対する理解の促進 地域住民、市内生活関連企業、団体等を対象に認知症サポーター養成講座を開催 認知症に対する正しい理解を促進	地域福祉課	
		○	●見守り活動の促進 認知症高齢者の徘徊対策として、事前登録及び関係機関等との連絡体制を確立 QRシールを活用し、行方不明者発生時早急に対応	高齢介護課	
		○	●民生児童委員による見守り活動の実施 支援を必要とされている方に担当課や専門機関をつなぐ	地域福祉課	

※(★) 標題変更検討

基本施策(2)：地域活動・ボランティア活動の充実					
取組の方向性	継続	新規	具体的な取り組み	所管課	課題
①ボランティアや地域活動への参加の促進	○		●市民協働センター「かけはし」による取り組み 市民公益活動を行う登録団体や個人を支援し、活動場所等を提供 かけはし講座を開催し、登録団体のスキルアップや他団体と情報交換の場を提供	広聴協働課	
	○		●ファミリーサポートセンターの相互援助活動 地域の中で子育てを支え合っていく相互援助活動を支援	子育て支援課	
	○		●向日市社協ボランティアセンターへの支援 各種講座の開催を支援し、ボランティアや地域活動への参加を促進	地域福祉課	
②地域福祉活動の人材の発掘	○		●リーダーや担い手の育成 シルバー人材センターへの運営助成 60歳以上の高齢者に随時的・短期的な仕事を提供し、社会参加を促進	地域福祉課	
		○	●ボランティアセンター登録の促進 向日市社協ボランティアセンターの新規登録者が増えず、継続して登録する方が少ない	地域福祉課	○
③地域活動拠点の確保		○	●地域活動拠点の確保 コミュニティの創造のため、集会、対話、各種サークル活動及び自治会活動などの自主的活動の場として、コミュニティセンターを提供  一節施設の老朽化が進み、今後の方向性を検討することが必要	総務課	○

基本施策(3)：地域福祉活動団体と行政との横のつながりの強化					
取組の方向性	継続	新規	具体的な取り組み	所管課	課題
①地域福祉活動団体等の連携の支援	○		●地域福祉懇談会の開催 自治会や福祉活動団体などと、地域課題について話し合い情報を共有の場を提供	地域福祉課	
	○		●民生委員・児童委員活動の支援 民生委員・児童委員による訪問活動や定例会、研修会などの実施を支援 行政や関係機関との連携を深め、地域課題の把握・解決に繋げた		
②地域包括ケアシステムの構築	○		●地域ケア会議・地域包括ケア会議の開催 地域包括支援センターが主となり個別ケースの支援内容の会議を実施 関係者の課題解決能力の向上や地域包括支援ネットワークを構築	高齢介護課	
	○		●高齢者見守りネットワークづくり（再掲：I-(2)-②） 郵便や宅配等の民間事業者協力を得て、多層的に見守り体制を構築 事業者：10箇所		
	○		●民生委員・児童委員との連携 ひとり暮らし高齢者や要配慮者等、見守りが必要な家庭に対して訪問活動を実施 安否確認や孤立防止を図り、担当課や専門機関と連携し対応		

<基本目標3：一人ひとりに合った適切なサービス利用の促進>

基本施策（1）：必要な情報が手元に届く仕組みづくり					
取組の方向性	継続	新規	具体的な取り組み	所管課	課題
①伝わりやすさに配慮した情報提供	○		●様々な媒体を活用した情報発信 広報むこうや回覧、掲示板、インターネット・SNSなどを活用した情報発信	企画広報課	○
	○		●見やすいホームページの作成 各所属ページにおいて、読み上げソフト等を意識した形式になっていない		
	○		●地域福祉活動の情報提供 社会福祉協議会事業の案内や福祉に関する情報を発信	地域福祉課	
	○		●コミュニケーション支援の充実 手話表現や要約筆記技術の修得者の養成・派遣 意思疎通を図ることに支障がある人に対し、自立した日常生活の手助けを支援 意思の疎通が困難な重度障がい者が入院した場合、支援員を医療機関等に派遣	障がい者支援課	

基本施策（2）：関係機関の連携強化による相談支援の充実					
取組の方向性	継続	新規	具体的な取り組み	所管課	課題
①相談窓口の周知	○		●民生委員・児童委員の周知 民生児童委員の名簿をHPに掲載、地区ごとの担当を周知	地域福祉課	
	○		●地域包括支援センターにおける相談 主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士による相談 訪問活動等による見守り支援などで適切なサービスの提供に結び付け 要支援者の急増に伴い、地域包括支援センターの機能強化	高齢介護課	○
	○		●子育てコンシェルジュによる相談 保健師が面接し、妊娠、出産、子育てに関する心配や不安を聞き取り 個々のニーズに応じたサービスを紹介する子育てコンシェルジュを開設	子育て支援課	
	○		●子育て世帯の相談窓口の充実 子育てに関する相談や情報提供、助言などを行う場の充実 妊娠中の方や保護者が地域子育て支援事業を利用できるよう利用を促進		
	○		●障がい者地域生活支援センターにおける相談 障がいのある人が自立した日常生活や社会生活を営むため、必要な情報を提供・助言 その他障がい福祉サービスの利用支援等、相談支援に努める	障がい者支援課	
	○		●生活困窮における相談 生活困窮者の自立支援のためハローワークと連携 就労支援や住宅確保給付金などの生活困窮に関する相談事業を推進 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、生活困窮世帯が増加	地域福祉課	○
②相談機関のネットワークの強化	○		●乙訓圏域障がい者自立支援協議会における連携 自立支援協議会において、部会・委員会等による会議を実施 障がいのある人が、地域で安心して暮らせるよう相談事業所を含めた関係機関が連携	障がい者支援課	
③生活課題・地域ニーズ把握	○		●地域ニーズの把握 地域課題を把握するため、民生児童委員が開催する井戸端会議等を活用 不安や心配ごと等を聞き取り	地域福祉課	
	○		●生活課題の把握 生活課題のニーズを把握するため、市民アンケート調査を実施 地域の福祉や生活課題を把握	地域福祉課	
	○		●地域ケア会議におけるニーズ把握 ケアマネジメント支援を通じて、地域の課題を明確にし、地域ネットワークを構築	高齢介護課	

<基本目標4：地域ぐるみの安心・安全対策の推進>

基本施策（1）：虐待の防止と権利擁護の推進					
取組の方向性	継続	新規	具体的な取り組み	所管課	課題
①虐待防止・早期対応	○		●地域での見守り活動 民生委員・児童委員によるひとり暮らし高齢者や要配慮者等に対し、訪問活動を実施 安否確認や孤立防止を図り、担当課や専門機関と連携し対応	地域福祉課	
	○		●児童虐待防止への取組み 「要保護児童対策地域ネットワーク協議会」構成員の連携強化、組織機能の更なる充実	子育て支援課	○
	○		●障がい者虐待防止への取組み 障がい者虐待防止センターを乙訓2市1町で設置しており、障がい者虐待の防止や 早期発見、相談、支援、啓発等を推進	障がい者支援課	
	○		●高齢者虐待防止への取組み 向日市高齢者虐待防止ネットワーク運営会を開催 関係機関の顔が見える関係性づくりによる連携強化、早期発見・早期対応のための 役割分担を実施	高齢介護課	
	○		●子育てコンシェルジュ事業等による虐待未然防止 妊婦全員にアセスメントを行い、個別プランを作成 必要な場合は、関係機関と連携して支援を実施	子育て支援課	
②権利擁護事業の推進	○		●成年後見制度の普及 潜在的に必要とする高齢者がいると考えられる 周知不足による未利用者の解消が求められる	高齢介護課	○
	○		●日常生活自立支援事業の推進 日常生活自立支援事業の新規相談の増加、生活支援員数に限りがあり、対応が困難 (社会福祉協議会)	地域福祉課	○
③生活困窮者への支援	○		●生活困窮者自立支援体制の構築 生活困窮者支援ネットワーク研修会を実施、相談支援の窓口理解と連携の促進 (社会福祉協議会)	地域福祉課	
	○		●生活困窮者への支援 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、生活困窮世帯が増加、個別相談も増加		○

基本施策（2）：安心・安全なまちづくり					
取組の方向性	継続	新規	具体的な取り組み	所管課	課題
①「災害時避難行動 要支援者名簿」への 登録促進	○		●災害時避難行動支援者名簿への登録 高齢者数の増加に伴い、要支援者が増加 申請方法を自ら申し込む「手上げ式」へ変更 真に支援が必要な方へ速やかに支援を行える体制を構築	防災安全課	
	○		●要配慮者への支援 一般市民やボランティア団体、市内高等学校と連携し、災害ボランティアセンター 設置運営訓練を実施（社会福祉協議会）		○
②消費者被害防止対策 の推進	○		●消費生活相談 新型コロナウイルス感染症拡大に便乗した悪徳商法、インターネット関連のトラブル 等、相談が増加	産業振興課	○
	○		●出前講座 悪質商法を中心に、消費生活トラブルについての講座を消費相談指導員が実施 消費者意識の向上・醸成	産業振興課	

基本施策（3）：外出しやすい環境づくり					
取組の方向性	継続	新規	具体的な取り組み	所管課	課題
①バリアフリー化の 計画的な推進	○		●バリアフリー化の計画的な推進 図書館においては、多目的トイレ、車いす対応便器等の設置 その他公共施設もバリアフリー化を推進	公共建物整備課	

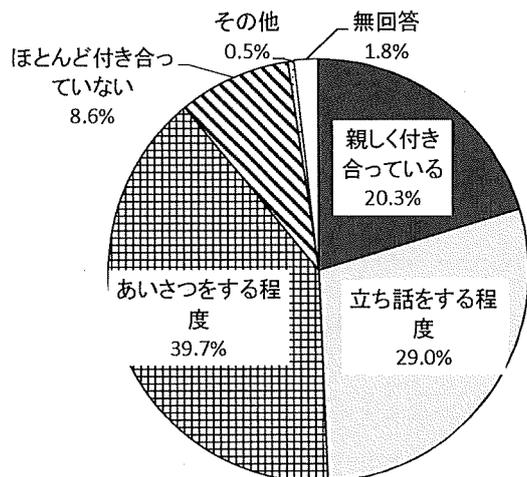
アンケート調査結果

【課題】

(1) 地域との関わり方

・10～30 歳代の若い人が、近所付き合いを「あいさつをする程度でよい」と考える人が多い傾向にあり、実際に「あいさつをする程度」にとどまっています。

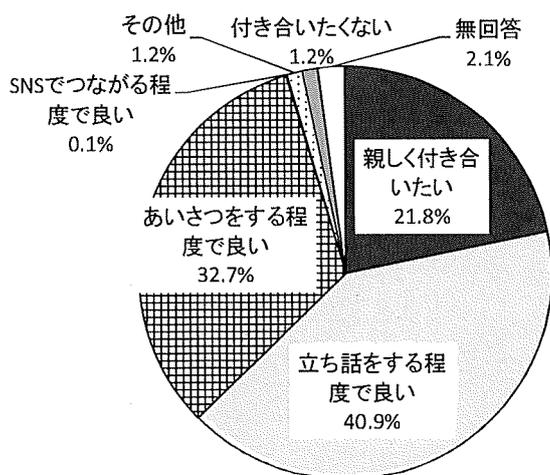
【近所付き合い（現状）】



【近所付き合い（年齢別）】

年齢	最も多い回答	%
10 歳代	あいさつをする程度	66.7
20 歳代	あいさつをする程度	58.1
30 歳代	あいさつをする程度	57.0
40 歳代	あいさつをする程度	45.1
50 歳代	あいさつをする程度	49.0
60 歳代	あいさつをする程度	41.9
70 歳代	立ち話をする程度	37.5
80 歳以上	親しく付き合っている	39.4

【近所付き合い（今後の希望）】

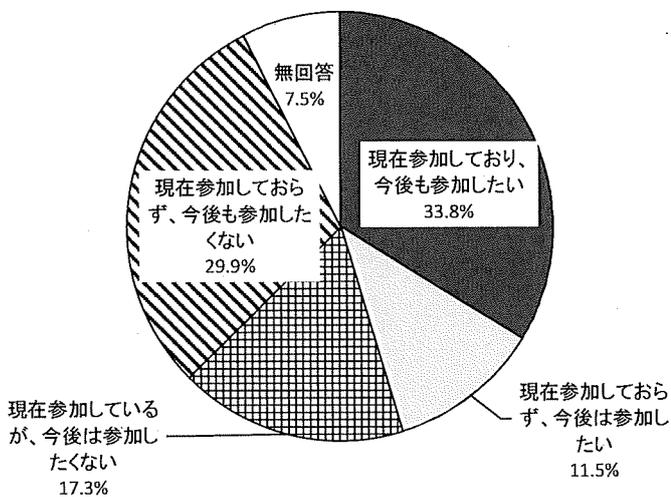


年齢	最も多い回答	%
10 歳代	あいさつをする程度でよい	66.7
20 歳代	あいさつをする程度でよい	55.8
30 歳代	あいさつをする程度でよい	40.5
40 歳代	立ち話をする程度でよい	43.6
50 歳代	立ち話をする程度でよい	46.1
60 歳代	立ち話をする程度でよい	41.0
70 歳代	立ち話をする程度でよい	46.9
80 歳以上	親しく付き合いたい	43.7

## (2) 地域福祉活動

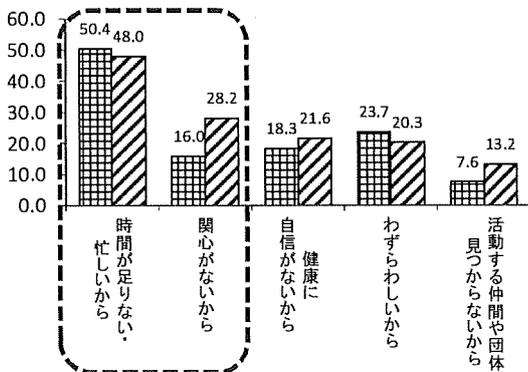
- ・全体で見ると、地域福祉活動に「現在は参加しておらず、今後は参加したい」と考える人が 11.5% いますが、逆に「現在参加しているが、今後は参加したくない」と考える人は 17.3%と前者を上回っています。
- ・年齢別に見ると、『20 歳代』と『30 歳代』の若い層で、現在も今後も参加したくない意向が高い傾向にあります。
- ・『現在参加しておらず、今後も参加したくない』と考える人は、その理由として「時間が足りない・忙しいから」だけでなく「関心がないから」の回答率が高くなっています。
- ・『現在参加しておらず、今後は参加したい』と考える人は、今後参加したい活動として「身近な地域を基盤とした活動」の回答率が低くなっています。

### 【参加状況×参加意向】



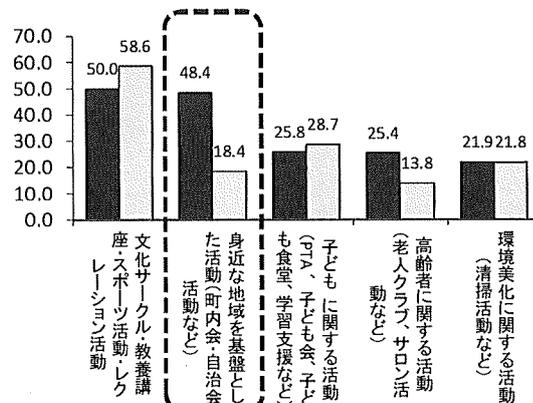
年齢	最も多い回答	%
10 歳代	現在参加しておらず、今後は参加したい	66.7
20 歳代	現在参加しておらず、今後も参加したくない	48.8
30 歳代	現在参加しておらず、今後も参加したくない	40.5
40 歳代	現在参加しており、今後も参加したい	34.6
50 歳代	現在参加しておらず、今後も参加したくない	32.4
60 歳代	現在参加しており、今後も参加したい	38.5
70 歳代	現在参加しており、今後も参加したい	39.1
80 歳以上	現在参加しており、今後も参加したい	40.8

### 【活動に参加したくない理由（上位 5 位）】



- 現在参加しているが、今後は参加したくない(n=131)
- 現在参加しておらず、今後も参加したくない(n=227)

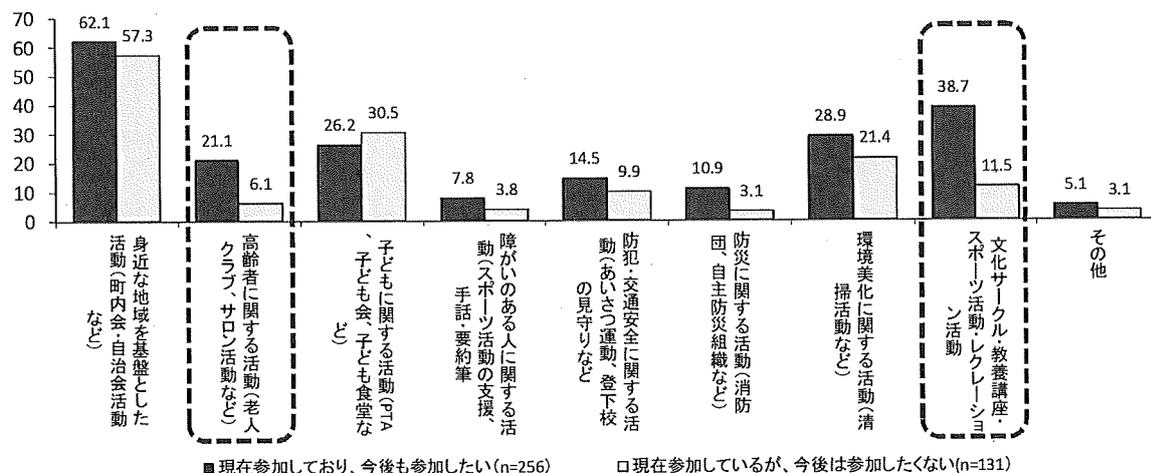
### 【今後参加したい活動（上位 5 位）】



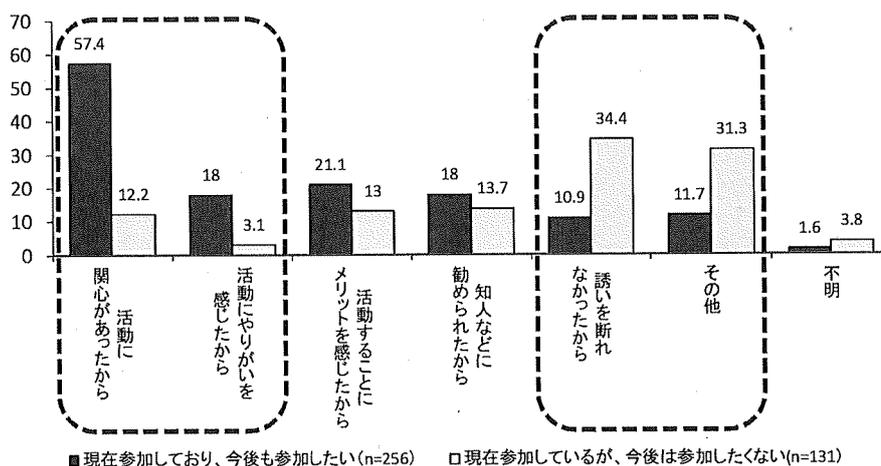
- 現在参加しており、今後も参加したい(n=256)
- 現在参加しておらず、今後は参加したい(n=87)

- ・地域福祉活動に現在参加している人について、今後の参加意向ごとに『現在参加している活動』と『活動の参加理由』を示しました。
- ・地域福祉活動を『現在参加しており、今後も参加したい』人は、「高齢者に関する活動」や「文化サークル教養講座・スポーツ活動・レクリエーション活動」の参加率が高い傾向にあり、活動の参加理由で「活動に関心があったから」の回答率が高い傾向にあります。
- ・一方で、『現在参加しているが、今後は参加したくない』人は、活動の参加理由として「誘いを断れなかった」が高い傾向にあります。

【現在参加している活動（今後の参加意向別）】



【活動の参加理由（今後の参加意向別）】



### (3) 地域福祉活動の拠点や情報源

・情報を得られている人（『十分得ることができている』と『だいたい得ることができている』）は、「情報を得られていない人（『あまり得ることができていない』『ほとんど得ることができていない』）の人」に比べて、「テレビ、新聞」や「市役所」「家族や親戚」「友人知人」だけでなく、「町内会・自治会の人」や「社会福祉協議会」「地域包括支援センター」「福祉サービスの事業所」「民生委員・児童委員」の回答率が高い傾向にあります。

【情報収集の方法と受取の状況】

	回答者数	テレビ、新聞	市役所	家族や親戚	友人・知人	町内会・自治会の人	S（インターネットなど）	医療機関	学校、保育所、幼稚園、
合計	759	25.3	25.1	21.6	21.2	17.5	17.0	11.6	8.4
十分得ることができている	15	6.7	53.3	33.3	26.7	26.7	13.3	6.7	13.3
だいたい得ることができている	272	22.1	30.9	19.9	23.5	23.9	18.0	16.9	11.4
あまり得ることができていない	282	30.5	26.2	25.5	23.4	16.7	20.2	10.6	9.6
ほとんど得ることができていない	158	27.2	12.7	19.0	14.6	8.2	13.3	5.7	2.5
	回答者数	社会福祉協議会	地域包括支援センター	福祉サービスの事業所	民生委員・児童委員	子育て支援センター	その他	情報は必要ない	無回答
合計	759	7.9	5.8	5.3	4.6	4.2	9.5	3.3	4.5
十分得ることができている	15	40.0	20.0	20.0	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0
だいたい得ることができている	272	14.0	12.1	9.9	7.7	6.3	12.5	0.4	0.7
あまり得ることができていない	282	3.5	2.1	2.1	3.2	4.3	8.2	1.8	2.8
ほとんど得ることができていない	158	2.5	0.6	1.3	0.6	1.3	9.5	12.0	5.1

#### (4) 地域での支え合い

- ・全体的に「福祉サービスの事業所」に手助けを求める人が多い傾向にあります。
- ・その一方で『短時間の子どもの預かり』や『話し相手や相談事の相手』は、「友人・知人」に手助けを求める人が多くなっています。
- ・手助けしたい内容としては、手助けできる範囲に関わらず、「安否確認の声掛けや見守り」「災害時の手助け」の回答が多くなっています。一方で、「話し相手や相談事の相手」や「ゴミ出し」「買い物の手助け」は、『支援したいが、余裕がない』人は回答が少なく、『できる範囲で支援したい』『支援したいが、何をすればよいかわからない』人の回答が多い傾向にあります。

【手助けしてほしい内容と手助けをしてほしい人】

	回答者数	近所の人	友人・知人	町内会・自治会の人	民生委員・児童委員	ボランティア	福祉サービスの事業所	NPO団体など	その他	無回答
合計	675	35.1	35.4	16.6	14.2	20.0	52.9	15.7	4.1	3.6
安否確認の声掛けや見守り	383	47.3	42.0	23.0	18.5	20.9	53.0	13.6	3.9	2.9
災害時の手助け	462	37.9	37.9	18.2	15.8	22.7	55.6	17.1	3.9	3.0
ゴミ出し	128	32.8	35.9	22.7	18.0	26.6	64.3	19.5	3.9	4.7
病院などの外出の手伝い	226	27.9	35.0	15.5	17.7	25.2	72.1	20.8	4.0	3.5
買い物の手助け	201	31.3	35.3	19.4	18.9	27.4	66.7	17.9	4.5	5.5
家事の手伝い	181	28.7	35.9	16.0	17.7	30.4	72.4	23.8	5.0	2.2
短時間の子どもの預かり	112	33.9	50.0	17.0	17.0	25.0	55.4	22.3	4.5	2.7
話し相手や相談事の相手	182	40.7	46.2	22.5	23.6	25.8	58.8	20.3	4.4	3.3
その他	21	23.8	23.8	14.3	14.3	19.0	47.6	28.6	38.1	9.5

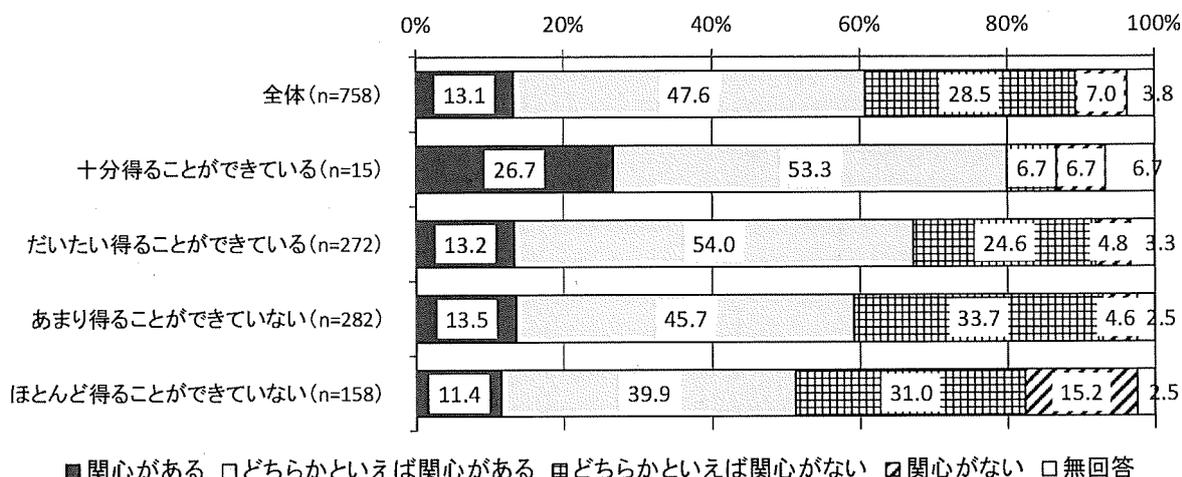
【手助けしたい範囲と手助けしたい内容】

	回答者数	安否確認の声掛けや見守り	災害時の手助け	話し相手の相手や相談	ゴミ出し	買い物の手助け
合計	659	68.4	49.3	27.0	26.1	19.4
できる範囲で支援したい	228	83.8	57.0	36.8	35.5	27.6
支援したいが、余裕がない	228	59.6	46.1	18.9	16.2	11.4
支援したいが、何をすればよいかわからない	184	65.2	45.7	26.6	27.7	20.1
	回答者数	病院などの外出の手伝い	家事の手伝い	短時間の預かり	その他	無回答
合計	659	9.6	7.4	7.1	3.3	4.2
できる範囲で支援したい	228	18.4	11.8	10.5	1.8	0.9
支援したいが、余裕がない	228	3.9	3.1	5.3	3.9	6.1
支援したいが、何をすればよいかわからない	184	5.4	7.6	5.4	2.2	4.3

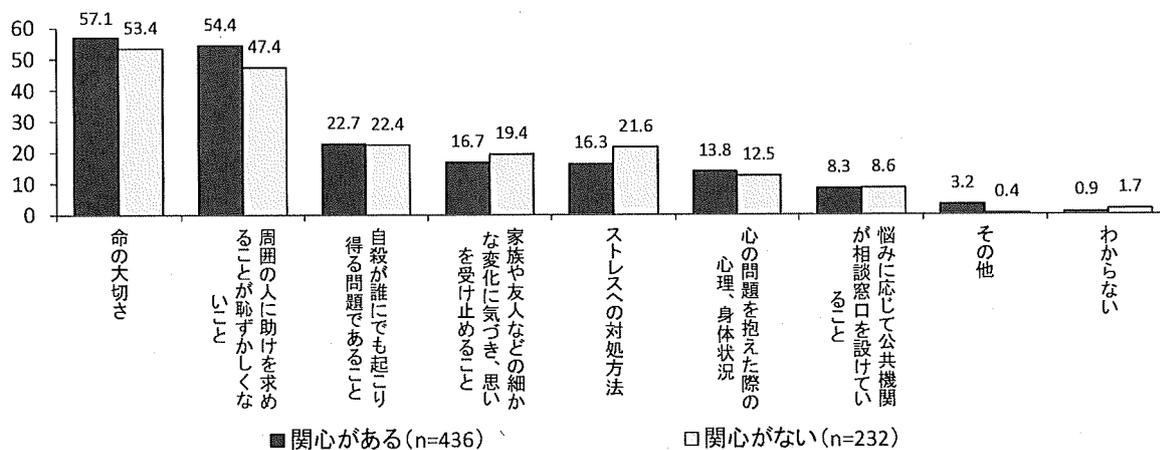


- ・福祉情報を十分に得ている人ほど、自殺問題への関心度（「十分得ることができている」と「だいたい得ることができている」）が高い傾向にあります。
- ・自殺問題への関心に関わらず、「命の大切さ」や「周囲の人に助けを求めることが恥ずかしくないこと」を児童・生徒が学ぶべきことという回答が多くなっています。

【福祉情報の受取状況と自殺への関心度】



【自殺問題に対して児童・生徒が学ぶべきこと（自殺問題への関心度別）】



## 策定スケジュール

時期	実施内容
8月6日	第1回策定委員会開催
8月～9月	関係機関ヒアリングの実施
9月～10月	計画骨子案の作成
10月27日	第2回策定委員会開催
10月～12月	計画素案の作成
12月中旬	第3回策定委員会開催
1月	パブリックコメントの実施
2月	パブックコメントの取りまとめ 計画書最終調整
3月上旬	第4回策定委員会開催
3月末	計画の策定